

ふながた

若鮎物語

～半世紀の軌跡～



町制施行50周年記念誌



町制施行50周年を迎えて

舟形町長 伊 藤 和 昭

昭和29年12月旧舟形村と堀内村が合併して、ちょうど半世紀を迎えることとなりました。50年の月日は世界そして日本のみならず、この舟形町も近代化の時代を超えて都市化への進展を享受してきました。多くの町の先人たちが町発展のために流した汗は、町の産業振興、社会資本の整備、福祉の向上など町民の幸せのために確かな足跡を残してきましたことは、本誌を見るだけでもその功績は多大なものと感じます。

昭和33年に町の第一次基本構想ともいるべき舟形町建設設計画を策定してから、現在、第五次の基本構想に向けて行政運営を進めておりますが、その間、産業構造も亜炭産業から農業へと転換され所得向上を果たし、生活様式も文化的になり、福祉の向上や環境整備など様々な事業展開を行い、豊かで住みよい町へと変遷してきました。しかしながら、その反面、過疎化による農業後継者の不足や少子化現象など、地方においては大きな問題が持ち上がってきています。地方行政の運営についても、ここ10年の間で国の財政情勢と相まって厳しい状況を迎えていたのが現実です。

こうしたなかで、昨年、新庄市と合併するための法定協議会が立ち上げられ、1市1町の合併が進められましたが、今年6月に県内初という住民投票が行われました。その結果、反対多数で新庄市との合併は破綻となり、こうした意味において今年は、町制施行50周年の節目とともに町民が自立を選択した「自立元年」の年とも言えます。

今、町では、第5次の基本構想のもとに、「ひとり一人が大切にする町」を目指し、町民の皆様と協力しながら「人」がいきいきと生活出来るような「環境」を整備しつつ、先人たちから受け継いだ豊かな自然をこれからも「未来」を担う子ども達に継承していくことの使命を痛感しているところであります。

自治体をとりまく社会情勢は誠に厳しいものがありますが、町民の幸せのために行政もこうした先人に負けないくらいの輝かしい足跡を残せるよう努力していきますと共に、関係各位の尚一層のご理解とご協力をお願い申し上げ、このたびの町制施行50周年記念誌を発刊するにあたりあいさつと致します。

平成16年11月1日



町 章

舟形の「舟」を図案化したもので、
町の融合と平和を意味し、輪郭は
ダイヤを型どり地下資源と合せて
町の繁栄を象徴したもの。

まちの木.....えんじゅ
まちの花.....こぶし
まちの鳥.....きじばと
まちの魚.....鮎
まちの色.....みずいろ



目次

町のおいたち、位置と地勢	4
歴代の町長・議長	5
50年の年表	6・7
村から町へ	8・9
各年代のダイジェスト	10～19
半世紀 ~足跡をたどって~	20～71
資料編「自然」「昔と今」	72・73

町のおいたち

本町の区域は藩政時代には旧新庄領に属しており、その後、明治4年の廢藩置県などいくつかの行政制度変遷を経て、明治22年に現在の前身である「舟形村」が生まれました。翌23年11月に堀内地区が分村し、以来80年余にわたり舟形村、堀内村として歴史を重ねてきました。

昭和28年の町村合併促進法の施行に伴い、翌29年12月1日、両村が合併し、現在の「舟形町」が誕生しました。

町の位置と地勢

本町は、山形県の北部最上郡のほぼ南端に位置し、南北6.5km、東西27.4kmと東西に細長い地形になっており、総面積は119.03km²の町である。奥羽山脈、出羽丘陵の山麓に囲まれ最上川に注ぐ小国川と松橋川の2流域に区分され、耕地及び集落は2つの河川沿いに広がりをもち、町土の7割を占める山林に囲まれている。

土地利用の現況については、農用地13.9%、森林70.4%、原野0.2%、水面・河川・水路3.0%、道路2.4%、宅地1.1%、その他9.0%となっている。

本町を大別すると、長沢、舟形、長者原、富田、堀内の5地区に区別することができ、34町内会36地区からなっている。

町役場の位置

山形県最上郡舟形町舟形276番地

人口(平成16年9月30日現在)

男 3,321人

女 3,460人 計 6,781人

気候

気候は、内陸性で冬季夏季の寒暖の差が激しく、冬季間は最上川の峡谷部を吹き抜ける北西の季節風が強く毎年11月下旬から3月までは積雪深2~3mとなり、夏季間は内陸性の盆地的気象で蒸し暑くなります。気温は月平均最高気温が23.3、月平均最低気温が-1.6で、月平均気温が10以上ある月は5~10月までの6ヶ月となっている。また、風向きは主に北西風、風速は2.4mでしばしば北太平洋から奥羽山脈の鞍部を越えて冷涼な気流が入り込み、冷害になりやすい気候となっている。



本坑撰炭工場 ~舟形駅前貯鉱舎間のエンドレス輸車路

歴代町長



初代 星川 瞰太郎



2・4代 奥山 与市郎



3代 星川 五郎兵衛



5~6代 澤内 甚一郎



7・10代 沼澤 長吉



11~13代 鈴木 勝治

歴代議長

初・3代 中山 敬治郎

15代 伊藤 道五郎

2・5~6代 渡辺 忠五郎

16~25代 加藤 俊正

4代 澤内 甚一郎

26代 佐藤 勝

7~14代 伊藤 允一



S26年 堀内村々議会議員



S27年 舟形村々議会議員

ふながたの歩み 50年

1954 (昭和29年)
12月1日町制施行
人口12,007人 1,989世帯

1955 (昭和30年)
初の町議会議員選挙
三光堰竣工
町連合婦人会発足
町連合青年団発足

1956 (昭和31年)
町立長沢小学校改築落成
斎藤茂吉翁歌碑落成 (猿羽根山)
堀内橋竣工

1957 (昭和32年)
舟形・堀内農業共済組合合併
舟形町農業委員会委員初選挙
町役場6課を4課に (税務・厚生・経済・土木)

1958 (昭和33年)
富長橋架替工事着工
町初の公営住宅15戸完成
富長小学校新築移転授業開始
太郎野地区開田事業着工

1959 (昭和34年)
長沢小学校竣工
東長沢駅竣工 大平・鼠沢・太郎野・西又各分校竣工

1960 (昭和35年)
猿羽根山隧道貫通
長尾橋起工

1961 (昭和36年)
舟形町で初の保育園誕生 (66名入所)
舟形小学校でミルク給食始まる
堀内中学校落成
舟形町商工会発足
町営火葬場竣工

1962 (昭和37年)
国道47号線1級国道に昇格
郡内初のホップ栽培 (長沢)
初の老人クラブ誕生 (長者原)
長沢診療所新築落成

1963 (昭和38年)
舟形中学校卓球女子ダブルス県優勝
国道47号線道路改良工事竣工

1964 (昭和39年)
役場前十字路に初の信号機
震度5の地震に見舞われる (新潟地震)
大洪水、冠水田畑70町歩
衛生組合誕生
桧原沢開田竣工
舟形小学校・堀内児童館落成



1965 (昭和40年)
舟形保育園新築落成
舟形保育所・富長・堀内児童館町営として発足
舟形町老人クラブ連合会発足
舟形町振興審議会発足
長沢児童館落成

1966 (昭和41年)
長沢小・中学校完全給食開始
野田地区開田工事起工
富長児童館完成
長者原橋竣工
舟形中学校理科クラブ「日本学生科学賞」受賞

1967 (昭和42年)
町初の農業振興懇談会
白バラ会発足
洲崎橋落成
舟形町庁舎新築起工

1968 (昭和43年)
舟形橋に歩道橋完成
新町内会「西堀」誕生
町消防団消防長官賞受賞
裏の山園場整備起工

1969 (昭和44年)
舟形中学校理科クラブ「文部大臣賞」受賞
舟形第一次簡易水道工事着工
舟形中学校米飯給食開始
富田ホーヤ沢開田落成 (75ha)
堀内母子センター起工

1970 (昭和45年)
老人家庭奉仕員制度生まれる
過疎地域に指定
最上川堀内築堤落成
猿羽根山観光事業竣工 (大鳥居・休憩所)
舟形町第一次簡易水道竣工

1971 (昭和46年)
堀内小学校実栗屋分校閉校
堀内小学校新築起工
猿羽根山相撲場落成
町民プール完成オープン

1972 (昭和47年)
山村振興地域に堀内地区認定
新農協発足
猿羽根山展望台落成

1973 (昭和48年)
青年センター完成オープン
広域消防舟形分署開設
平沢地区地くずれ (奥羽本線20日間余不通)
企業誘致ウツシカワ縫製工場操業

1974 (昭和49年)
舟形駅無人化反対町民総決起大会
長尾橋完成
豪雪対策本部設置
奥羽自動車部品工業着工
身体障害者療護施設「光生園」着工
集中豪雨 (被害額約11億円)
舟形町中央公民館落成

1975 (昭和50年)
重度身体障害者療護施設「光生園」オープン
舟形保育所増改築
奥羽自動車部品工業操業開始

1976 (昭和51年)
集中豪雨 (被害額約14億円)
冷害対策本部設置
町営住宅完成 (4階16世帯)

1977 (昭和52年)
除雪センター完成
町民グラウンドにナイター施設完成
国道13号線舟形大橋完成

1978 (昭和53年)
町営住宅完成 (4階16世帯)
舟形駅無人化に
三光堰改修事業スタート
水田利用再編対策スタート

1979 (昭和54年)
亀割バイパス着工
太折地区鉱害復旧事業完成
温泉ボーリング行う (野地区)

1980 (昭和55年)
記録的な豪雪 (2/4西又分校で285センチメートル記録)
農村総合整備計画策定
異常低温続く (冷害)
新過疎地域振興計画策定
ハリヨ地区亜炭鉱害復旧事業完成

1981 (昭和56年)
B&G舟形海洋センター完成
長沢保育所完成
民族資料館完成
統合中学校建築開始
商工会館完成
西又分校廃校

1982 (昭和57年)
B&G上屋付プール完成
松原アユセンター完成

1983 (昭和58年)
保健センター完成
南部保育所完成
統合中学校開校

1984 (昭和59年)
庁舎改修事業着工
公営住宅建設事業着工
農林漁業体験実習館着工

1985 (昭和60年)
太郎野・大平各分校閉校
山交バスに代わり、町営バスが運行 (上長沢・木友)
農林漁業体験実習館オープン

1986 (昭和61年)
三光堰融雪災害
農村環境改善センター完成
烏川大橋開通

1987 (昭和62年)
国道47号バイパス長尾トンネル貫通
第1回東北轍馬競技舟形大会開催
長沢あいさつ橋開通

1988 (昭和63年)
長沢小学校新校舎完成
舟形保育所完成
猿羽根山スキー場オープン (ナイター完備)

1989 (平成元年)
舟形町きれいな水づくり推進協議会設立
第4次舟形町基本構想「ハビネスシップふながた」策定
県より第1回優良納税市町村表彰受賞

1990 (平成2年)
県内初の地籍情報管理システム導入
ウド山斎場完成 (舟形町・大蔵村共立)
過疎地域活性化計画策定

1991 (平成3年)
猿羽根山トレーニングセンター完成
富長小学校新校舎完成
長沢八景の句碑完成

1992 (平成4年)
舟形児童館完成
主要地方道大石田・畠線 堀内バイパス完成
国道47号線 亀割バイパス完成
4,500年前の遺跡発掘 (西の前地区)

1993 (平成5年)
観光物産センター・医療サービスセンターオープン
主要地方道新庄・村山・次年子線 富田地区バイパス完成
舟形若あゆ温泉オープン

1994 (平成6年)
特別養護老人ホーム「えんじゅ荘」オープン
高規格道路舟形トンネル貫通
「福祉のまち」宣言

1995 (平成7年)
生涯学習センターオープン、センター内に長沢中学校併設
温泉周辺にコテージやテニスコートなどが完成
福寿野地区に防災ダム完成

1996 (平成8年)
旧Aコーブ建物を役場第二庁舎に
上長沢地区農業集落処理施設が完成
全町に防災行政無線が開局

1997 (平成9年)
洲崎木工クラフト館完成
あゆっこ村を株舟形町振興公社へ管理業務委託
町のホームページをインターネット上に開設

1998年 (平成10年)
舟形小学校新校舎完成開校
リサイクルプラザもがみ完成、ゴミの有料化と分別回収始まる
広域農道「一ノ関大橋」完成
長沢中学校閉校

1999 (平成11年)
鮎中間育成施設完成し記念放流
下長沢地区農業集落排水処理施設が完成
自動車専用道路の尾花沢新庄道路開通

2000 (平成12年)
第3回全国雪サミット2000開催
エコ産業プロジェクト研究会が環境大臣表彰受賞

2001 (平成13年)
20年ぶりの豪雪で人身事故、園芸ハウス被害が多発
(堀内小積雪264cm)
農産物直売所「まんさく」オープン
紫山民間宅地造成「パープルエコタウン」分譲開始

2002 (平成14年)
えんじゅ荘30床増床、ゆいの家完成
名誉町民の称号及び章を授与
住民基本台帳ネットワークシステム稼働開始

2003 (平成15年)
県道舟形大蔵線「西の前アンダー」開通
新庄市・舟形町合併協議会設立
合併の是非を問う住民投票条例制定案、議会で全会一致で可決

2004 (平成16年)
「新庄市との合併の賛否を問う住民投票」で合併反対が73.4%
新庄市・舟形町合併協議会廃止

村から町へ



堀内村役場と郵便局（明治時代）



大正時代の舟形駅前通り



舟形橋取り付け道路工事



舟形駅前貯鉱舎



長沢小運動会（昭和3年）



舟形大火翌年の本町通り（大正14年）



熊を射止める実栗屋地区民（昭和10年頃）



舟形小学校同級会（昭和24年）



長沢橋工事（昭和初期）



本町で行われた むかさり



猿羽根山峠（昭和27年）

歴代 舟形村長



初代 杉山 久治 氏



2代 北條 捨三 氏



3代 伊藤 幸藏 氏



4代 星川 小重郎 氏



5代 長岡 仙吉 氏



6代 寒河江雄助 氏



7代 山口 三藏 氏



8代 義 喜久次郎 氏



9代 大場 清行 氏



10代 溝口 藤美 氏



11代 曽根田源次郎 氏



12代 渡部 卓三 氏



13代 星川敏太郎 氏

20年代

明治23年11月に舟形村から分村した堀内村が64年の月日を経て、再び昭和29年12月に合併し、人口12,007人の「地下資源の宝庫舟形町」が誕生した。町は、近代産業の基幹となる石油、亜炭を保有する町として県からも期待され新たな船出をすることとなる。



旧舟形中学校落成式 (S 27)



第2回村民大運動会 (S 29)



県青少年問題協議会長より表彰を受けた富田若竹子供クラブ放送班 (S 27)



供出米一番乗り (農協前)



舟形橋工事を手伝う中学生 (S 27)



幅婦人会が新生活事業モデル町村に選定 (S 27)



最初の舟形村教育委員会 (S 27)



舟形村第1号消防自動車 (S 27)



野、幅、沖の原に電話設置 (S 27)



福寿野で県広報活動 (S 28)

30年代

高度経済成長期を迎え、交通網の整備、教育環境の整備が重点的に図られるが、亜炭山の不況により町税の減収が町の財政を苦しめた。しかしながら、農業生産基盤の整備に力を入れ、農業振興の町へと変遷する礎を築き始めた。



舟形本町お祭り風景 (S 3 1)



冬の国道 13 号舟形橋



商工会設立 (S 3 6)



飛行機とばし大会 (富小)



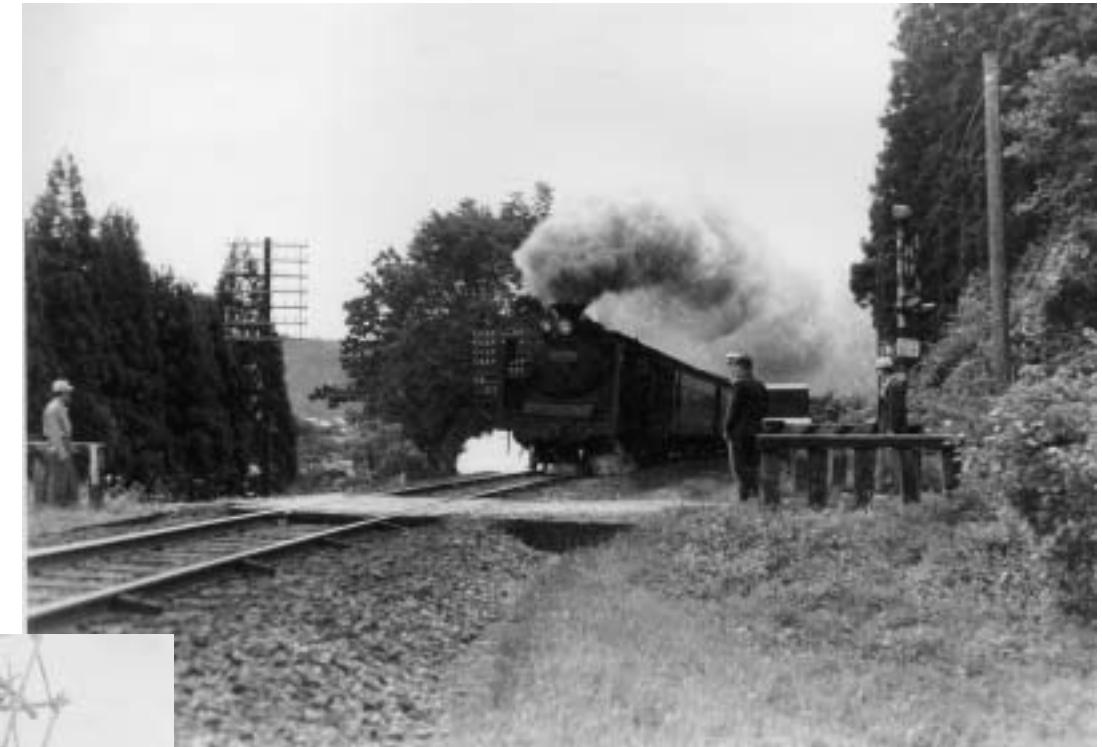
公民館で開催された社会学級



町にプールがなく小国川で泳ぐ子供達 (S 3 8)



建設中の富長橋 (S 3 4)



沖の原踏切を通過する S L (S 3 5)



長者原に婦人消防団結成 (S 3 7)



猿羽根山隧道開通式 (S 3 6)



五月みどりショー (S 3 8)

40年代

役場庁舎が新しくなるとともに、衛生的文化的生活への実現に向けた拠点施設の整備が始まる。反面、高度経済成長のなかで米の生産調整政策が始まり、また、農家は現金収入を求めて冬期間出稼ぎという現象が生まれた。町は企業誘致への対応を図り、見事その実現を見る。



50年代

保育所の整備など就労確保のための再整備がなされるとともに、福祉行政への充実を推進した。また、教育面においては、分校廃止や学校統合を進め近代的な教育環境が整備され、社会教育の拠点施設の充実を図り人づくり・地域づくりを推進した。



わらび採りが生徒会の大切な収入源に（舟中）



第1回若鮎祭り（S 56）



ハリヨ地区亜炭鉱害復旧事業（S 55）



増水により土台が削り取られ、傾いた西又教職員宿舎（S 51.8.6）



週2回のご飯持参給食始まる（S 51）



南部保育所開所（S 58）



NHK夏の全国巡回ラジオ体操に町民2,000人が参加（S 52）



保健センターオープン（S 58）



B&G海洋センターオープン（S 56）

60年代

バブル期を迎えた60年代は、国のが「ふる里創生資金」も手伝いレジャー施設整備を行う。また、農家の兼業化に伴いそれまで展開してきた農業生産基盤の整備から技術支援に移行してきた。

平成の時代に入りバブルがはじけ、国の経済情勢は混迷した。地方自治体の財政状況も苦しくなり平成の大合併がさけばれる中、町は新庄市との合併を進めた。しかし、県内初の住民投票が行われ、その結果、合併を断念し今を迎える。



解体前の舟形駅



最後のふるさとまつりでの仮装大会
(先生園チーム)



30周年記念事業で
北見恭子ショー (S 6 0)



鮎祭りでの鮎つかみ取り (S 6 1)



富田町内運動会



ふるさと消防フェア



第3回全国雪サミットを舟形町で開催 (H 1 2)



西の前遺跡で八頭身美人工偶発掘 (H 4)



新しく生まれ変わる長沢橋 (S 6 2)



第1回東北輶馬競技舟形大会開催 (S 6 2)



雪中田植え (南部保育所おさいど)



30周年記念事業雪祭り開催 (S 6 0)

1954

(昭和29年)



半世紀

~足跡をたどって~

(写真：昭和49年 豪雪)

12月 1日
舟形村と堀内村合併
合併と同時に住所の「大字」
がなくなる

12月 1日
町制施行
町長職務執行者に星川仁平氏
初代議長に中山敬治郎氏
消防団長に沼澤長吉氏
(人口12,007人、1,989世帯)
12月25日
町長選挙 初代町長に星川
敏太郎氏当選 (投票率67.7
% 星川3,787票 原田一
郎344票)

学校の名称が変わる
村立中部小学校
...舟形小学校
村立東部小学校
...長沢小学校
村立西部小学校
...長者原小学校
村立南部小学校
...富田小学校
上記の他、村立が町立に変



合併を宣言



合併前の舟形村役場



合併前の堀内村役場

世界と日本
2月 1日
肉体派女優マリリン・モンロー
来日
3月 14日
第5福竜丸、水爆実験被災「死
の灰事件」
5月 25日
レスリング世界選手権で笠原正
三選手フェザー級で優勝
8月 21日
インドシナ休戦協定調印
12月 7日
不信任案提出で吉田内閣総辞職
12月 10日
鳩山内閣が成立



旧役場内

1955

(昭和30年)

1月
第1回成人式
1月26日
町連合青年団発足、団長に
佐藤良蔵氏
4月29日
初の町議会議員選挙
(定数26名)
6月26日
三光堰竣工式 500余町歩
を8力年の歳月にて完成
9月16日
町連合婦人会発足、会長に
舟形の星川ヨシイさん



完成した三光堰



町章審査会の模様

世界と日本

4月19日
浜村秀雄選手、ボストンマラソン大会新記録で優勝
6月22日
三鷹事件の竹内景助被告死刑確定
7月21日
20万円要求したトニー谷の長男
正美ちゃんの誘拐犯逮捕
8月6日
最初の原水爆禁止大会、広島で
開かれる
8月24日
岡山県下の幼児4人、森永粉ミルクのヒ素中毒で死亡



初の成人式

【選挙】4月29日町制施行後初の町議選が執行された。その当選の栄誉を得た26氏の中から、議長に渡辺忠五郎氏が選任された。

【町章】この年の3月号「町報舟形」で町章の図案を募集、5月13日応募作品の審査会を行った結果、応募者36名作品82点の中から木村初市（木友）と阿部貞一（小松）両氏が入選、さらに大場茂義氏（長沢）に、入選作品を基礎にした図案作製を委嘱し、正式町章が誕生した。

【農業】昭和22年7月沖の原地内に「県営三光堰用水改良事務所」が設けられ、総工費9,799万円余の巨費と8年の歳月を要し、関係面積500余町歩に及ぶ灌水路改良事業が完成し、6月26日安孫子県知事

ら関係者が多数参加して竣工を祝った。

【教育】舟形町連合青年団が舟形村青年連盟と堀内村青年団の合流により1月26日発足、初代団長に佐藤良蔵氏が選任された。また、舟形町連合婦人会結成大会が9月16日に挙行された。約350人の婦人会員により満場一致で初代会長として星川ヨシイさんが選出された。

【石油】内陸油田の宝庫として時の脚光を浴びた実栗屋の帝石最上鉱場は、13本位から採油し、日産36kl。掘進事業に1億9千万円を投入し、予定採油1万9千klである。

1956

(昭和31年)

1月27日
舟形駅貨物ホーム拡張落成
5月12日
斎藤茂吉歌碑落成
(猿猴根山)
5月18日
県都市訪問縦断駅伝競走に
本町から、木友の伊藤瑞穂
さん、富田の小国喜久松さ
ん参加、敢闘する
6月30日
町立長沢小学校落成、校舍
体操場
(463坪、総工費1,218万円)
10月1日
消防団長に中山敬治郎氏
10月
舟形小学校に二宮像の再建
なる（建立 旭川市居住の
沼沢長吉氏）
11月4日
第1回町内訪問駅伝大会
11月10日
堀内橋竣工式、延180.91m、
巾5.5m、歳月3力年、総工
費6,915万円)
11月25日
長者原の星川末治郎氏一家
6人、南米ドミニカ移民



完成した長沢小学校



再建になった二宮像



完成した堀内橋



斎藤茂吉翁歌碑



当時の鉄道除雪

1957

(昭和32年)

1月1日 町役場課制縮小6課を4課に。総務、税務、厚生、経済土木課になる。
 2月1日 郡下のトップを切って(舟形・堀内)農業共済組合合併
 3月26日 奥羽本線ディーゼルカー延長運転(米沢~新庄)
 4月1日 舟形町農業委員会委員発足、初選挙(定員15名)
 7月 国道13号線猿羽根山峠改修事業に取り掛かる
 7月9日 故澤内甚助助役の町葬
 7月31日 堀内地区に自動車ポンプ配置
 8月15日 富長小学校統合校舎建築契約
 8月 町内のトップを切って、小松地区開田事業完了(12町歩)
 11月21日 堀内診療所に松田医師着任



改修される猿羽根山峠



第4回町民運動会の1コマ



舟形駅に初めて乗り入れたディーゼルカー



世界と日本

2月25日 岸信介内閣成立
 3月13日 「チャタレー裁判」判決で罰金刑
 10月4日 ソ連、世界最初の人工衛星打ち上げに成功
 10月4日 インドのネール首相来日
 11月3日 長島六大学野球で8ホーマー新記録
 11月26日 冬期五輪の三冠王トニーザイラ一来日

1958

(昭和33年)

4月 太郎野地区開田事業着工
 5月1日 町立家政学院廃止
 7月10日 松橋薬師如来県貴重文化財に指定
 9月 富長橋架替工事着工
 10月19日 全国装蹄師競技大会で舟形の鍛冶清次郎さん名人位獲得
 11月 町初の公営住宅15戸完成(舟形10戸、長沢5戸)
 12月1日 富長小学校、長者原小学校統合・富長小学校新築移転授業開始
 12月6日 第2代町長に奥山与市郎氏就任



完成した町営住宅(舟形)



町立家政学園



県貴重文化財に指定された松橋薬師如来

世界と日本

1月31日 アメリカ、人工衛星打ち上げに成功
 3月9日 関門トンネル開通
 5月24日 第3回アジア大会、東京国立競技場で開く、67個の金メダルに輝く
 6月24日 阿蘇山大爆発
 7月17日 文部省、道徳教育の全面実施決定
 12月1日 一万円札発行



開田された太折地区

【建設】天下の難所「猿羽根山国道」の改修着工。70曲り以上もある坂道を近代的舗装道路にする新道約5km、巨額4億円余を投する3年計画。トンネルの長さ430mで、照明設備も完備する。11月5日起工式を挙行。
 【選挙】町長選挙は12月6日投票が行われ、新町長2代目奥山与市郎氏が当選(奥山2,042票、星川敏太郎2,033票、星川仁平1,694票、小田俊与5票)
 【教育】富田小学校と長者原小学校が統合して、富長小学校として新築され、12月1日より新校舎へ移転。初代校長沼沢治男氏、児童数338人。
 【建設】町営住宅15戸完成(舟形地区10戸、長沢地区5戸)低所得者に生活安定と社会福祉増進を目的とした。
 東長沢駅設置運動を町と地元の同盟会(渡部一夫会長)で起こした結果、国鉄本社より10月13日付で許可指令が出て、設置が正式に決定。12月着工。

1959

(昭和34年)

3月1日 公営住宅入居
 4月30日 町議会議員選挙
 5月21日 富長小学校竣工式
 5月28日 富長橋竣工式
 7月10日 東長沢駅竣工、業務開始
 9月19日 最上郡木炭品評会で舟形町が第1位を獲得
 9月20日 最上郡中学校駅伝大会で、舟形中学校優勝
 11月 国民年金制度開始
 11月30日 大平、鼠沢、太郎野、西又各分校竣工式



橋がないため危険な鉄道利用



完成した富長小学校



名声を博した舟形木炭



業務開始した東長沢駅

世界と日本

1月1日 メートル法実施
 3月3日 アメリカ、月口ケットの打ち上げに成功
 4月10日 皇太子さま、正田美智子さんとご成婚
 7月24日 ミス・ユニバースに児島明子さん
 9月26日 伊勢湾台風襲来、死者5,041人



完成した富長橋（半分は昭和26年完成）

1960

(昭和35年)

4月1日 農業委員会委員改選
 4月13日 富田の高橋光弥さん、春日部部屋入門
 5月11日 猿羽根山隧道貫通式
 5月 長沢山にテレビ中継所（マイクロウェーブ）完成
 8月3日 社会体育振興優良町村で全国表彰
 8月19日 堀内中学校着工
 10月15日 長尾橋起工式
 10月30日 役場前に警鐘台完成（高さ19m、工費43万円）
 12月3日 北海道音更町の青年が当町青年学級生と交換会のため来町



北海道音更町と交換訪問をした青年学級生



世界と日本

1月19日 日米新安保条約に調印
 5月16日 雅樹ちゃん誘拐殺人事件発生
 7月14日 岸首相暴漢に刺され負傷
 7月19日 池田内閣発足
 8月25日 第17回ローマオリンピック開幕
 10月12日 浅沼委員長刺殺事件発生
 11月8日 民主党のケネディ、アメリカ第35代大統領に当選

長沢山にマイクロウェーブ完成

富田の高橋光弥さん角界弟子入り



【堀内小】明治6年創立で、本町では最も歴史の古い堀内小学校の児童数は、西又分校・実栗屋分校を含めて391名と、この年ピークを迎えた。

1961

(昭和36年)

1月
幅公民館落成
(工費60万円)
2月 9日
長尾橋架橋落成式
(延長110m、幅員2.5m、
工費156万円)
5月 10日
舟形で初の保育園誕生、公
民館に併設、66名入所、運
営は町内会で
5月 22日
舟形小学校でミルク給食始
まる (児童数581名)
7月 8日
長沢診療所開所、岸啓一先
生着任
7月 9日
斎藤好松県会議員、ソ連訪
問壮行式
9月 1日
堀内中学校落成式
10月 16日
舟形町商工会発足
(会員130名)
10月 19日
故渡辺一夫助役町葬
12月 20日
猿羽根隧道開通式
(延長433m、幅員7.5m)
12月 20日
町営火葬場竣工式
(工費104万円)



【土木】長尾橋が完成。2月9日渡橋式を挙行。野・幅・長尾地区民
が熱望した架橋。昭和34年の東長沢駅の誕生と同時に町当局に陳情。
新庄営林署不用の古材利用により延長110m、幅員2.5mの吊橋。
【教育】5月20日舟形保育園が誕生し、舟形公民館で開園式を挙行し
た。入園資格は小学校就学前2才年の幼児で66名が集まつた。保育料
は月額500円、保護者会費50円、毎月25日まで納付する仕組みで初代
園長として大泉清氏が委嘱された。幅公民館が部落民の自力により落
成、総工費60万、12畳の部屋が3間、台所、土間、便所などが付き立
派な公民館である。

堀内中学校校舎が前年12月28日着工し、7月31日を以て完成した。
堀内小中学校併設の障害を乗り越え、9月1日竣工式を挙行した。
【土木】国道13号線中の難所、猿羽根山峠の隧道工事が完了。10月
20日舟形口で開通式を行い、ただちに諸車の通行を許可。今まで峠越
えに20分も要したのが、2分という短時間で安全運転ができるよう
になった。
【商業】中小企業者の創意が結集し「舟形町商工会」が発足。10月
16日創立総会挙行。初代会長に中山敬治郎氏。

1962

(昭和37年)

1月 31日
舟形中学校増築工事落成
(72坪、工費287万円)
3月
富田出身、高橋光弥君
「桟桜」で初土俵
4月 2日
町議会議長に沢内甚一郎氏
4月
郡内で初のホップ栽培
(長沢で)
5月 1日
国道47号線(石巻、酒田線)
1級国道に昇格
5月 25日
猿羽根隧道並びに道路改修
竣工式(総工費4億5千万、
労働人員延20万人)
7月
長者原に本町初の老人クラ
ブ誕生(会員数50名)
10月 8日
太郎野道路竣工式
(延長1,404m、幅員4m、
工費43万円)自衛隊の部外
工事で完成
11月 27日
町長選挙、3代目町長に星
川五郎兵衛氏当選
(星川2,931票、奥山興市
郎2,504票、投票率91.9%)
12月 12日
長沢診療所新築落成
(総工費245万円)



世界と日本

1月 6日
アメリカ、キューバと断交
4月 12日
ソ連の人工衛星ウォストーク地
球を一周、ガガーリン少佐「地
球は青かった」と語る
7月 20日
小児マニにソ連製ワクチン使用
開始
10月 15日
日紡貝塚、ヨーロッパで24戦
無敗、「東洋の魔女」と呼ばれる
12月 2日
日本柔道敗れヘーシング優勝

世界と日本

2月 1日
東京の人口1,000万人を突破
8月 12日
堀江謙一青年、ヨットで太平洋
横断に成功
8月 30日
初の国産機「YS-11」試験飛
行成功
9月 5日
国鉄の金田投手、3,514の三振
奪取世界新記録
10月 10日
ファイティング原田、世界フラ
イ級チャンピオンになる

1963

(昭和38年)

- 4月1日 農業委員会委員改選
 4月30日 町議会議員選挙、定数26名から22名へ(投票率94.57%)
 6月26日 国道47号線改良推進協力会発足
 6月29日 長尾道路改良工事竣工式(延長195m、幅員3m、工費45万円)
 7月27日 舟形中学校卓球女子ダブルスで県優勝(平賀千恵子・遠道友子組)
 9月20日 「交通安全舟形」を宣言
 9月22日 佐藤正義氏(舟形)碁で東北準優勝
 9月29日 町商工会主催で「五月みどりショー」開催
 11月26日 中山金吉氏、亜炭産業功績により藍綬褒章受章
 12月18日 YBCテレビ新庄開局記念に町の風習「病送り」放映される



春季消防演習



長者原橋の起工式(7月26日)



亜炭の積み出し風景



林茂夫夫妻(堀内出身) ブラジルより25年ぶりのふるさと訪問

世界と日本

- 2月10日 北九州市発足
 3月30日 夢の超特急時速265キロの世界新記録に成功
 6月16日 ソ連、女性飛行士テレシコワを乗せ、打ち上げに成功
 11月1日 伊藤博文入りの新千円札登場
 11月22日 ケネディ大統領ダラスで暗殺される
 11月23日 日米間、初のテレビ中継に成功

1964

(昭和39年)

- 1月22日 故町長 星川五郎兵衛氏、町葬
 2月26日 第4代目町長に奥山與市郎氏当選(奥山2,760票、奥山千代治2,443票、投票率88.6%)
 5月13日 大場生コン工場落成式、工場誘致の草分、県内で3番目
 6月 役場前十字路に初の信号機取付(1分間に車5台の交通量)
 6月16日 震度5の地震に見舞われる(新潟地震) 人命に異常なし
 7月13日 昭和32年以来の大洪水、冠水田畠70町歩
 8月13日 富田の斎藤一さん兄弟ら5人、部落に警鐘台寄贈
 9月 各町内ごとに衛生組合誕生
 9月26日 オリンピック聖火リレー舟形町を通過
 10月5日 桧原沢開田竣工式(30ヘクタール)
 10月 舟形駅にボックス公衆電話設置される
 12月1日 舟形小学校落成式(1,057坪、工費7千万、3カ年継続で完成)
 12月10日 堀内児童館落成式



役場十字路に信号機があめみえ(紫山側から見た舟形本町)



オリンピック東京大会の聖火が通る



完成した舟形小学校

世界と日本

- 1月3日 連続殺人犯 西口彰熊本で逮捕
 5月27日 ネール首相死去
 8月17日 俳優佐田啓二 事故死
 10月1日 東海道新幹線が開通
 10月10日 第18回オリンピック東京大会開幕、28年ぶりの日の丸。マラソンの円谷第3位、女子バレーで東洋の魔女金メダル



長沢地区婦人会が料理講習会を開催

【町長逝去】町長星川五郎兵衛氏が1月29日逝去された。この悲報は各方面に驚愕を与え多大の哀惜の情を起こさせた。町の緊急議会総務委員会は町葬を以て弔うことに決定し、1月22日定泉寺において執行された。なお、星川町長の逝去により、公職選挙法により2月26日に町長選挙が行われ、奥山与郎氏が当選した。

【初の信号機】役場前十字路に待望の信号機が取り付けられる。1分

間に約5台の交通量の交差点から交通事故絶滅の一助をになう。国道13号線には黄色の点滅、47号線は赤の点滅で活躍。
 【東京オリンピック】第18回オリンピック東京大会が開幕した。それに伴い開会を告げる聖火は発祥の地ギリシャから9月9日、日本に到着し、分火された聖火が9月26日午後1時30分頃舟形町を通過。舟形の、いや日本の将来をになう生徒達が晴れやかに中継した。

1965

(昭和40年)

4月
舟形保育園落成式
4月10日
舟形保育園、富長、堀内児童館を町営として発足入園式
9月21日
舟形町老人クラブ連合会発足（会員数500名）会長に舟形の真見祐臣さん
10月1日
昭和40年国勢調査（人口9,548人）
11月
星川敏太郎氏勲五等瑞宝章受章
11月9日
自衛隊第6師団無医地区診療、堀内地区600名受診
12月
舟形町振興審議会発足
12月
長沢児童館落成（工事費400万円、建坪70坪）



国道47号線の改良工事現場（平石橋周辺）



老人クラブ連合会発足記念植樹



完成した長沢児童館

世界と日本

2月7日
米、北ベトナムの北爆開始
4月13日
暴力団山口組らに手入れ、177人を逮捕
6月12日
阿賀野川流域に有機水銀中毒、水俣病発生
7月3日
吉澤ちゃん誘拐殺人犯、小原保容疑者逮捕
10月21日
南海野村選手 3冠王になる
10月21日
朝永振一郎博士にノーベル賞

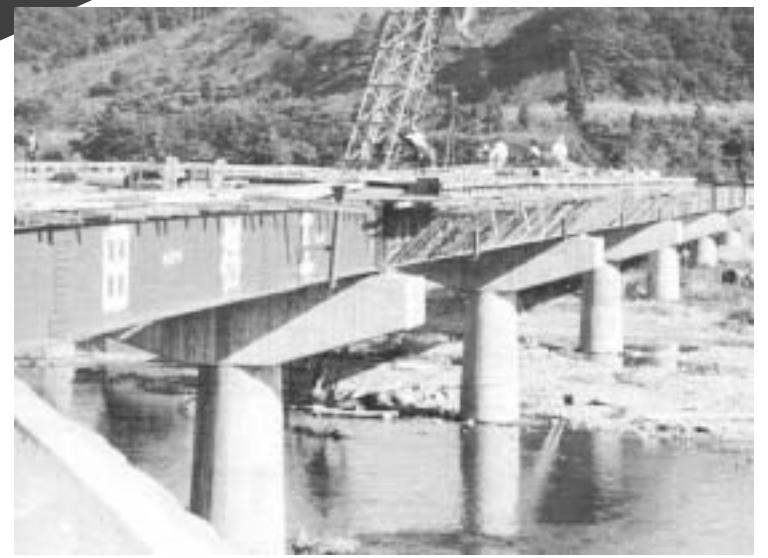


完成した舟形保育園

1966

(昭和41年)

2月10日
長沢小中学校完全給食始まる
4月1日
農業委員会委員改選
4月
中山金吉氏勲五等双光日章を受章
5月16日
舟形小学校47号線取付道路竣工式（延長242m、幅員5m）
6月17日
町の議員定数20名に改正（旧22名）
7月8日
町議会議員補欠選挙 無投票当選4名
7月16日
長者原橋竣工式（期間3カ年、工事費5,500万円）
9月20日
野田地区開田工事起工式
10月
堀内油田再試掘（実栗屋地内）
11月
富長児童館完成（371万3千円 188m²）
11月
舟形地区交通安全を守る家の会結成
11月3日
舟形中学校理科クラブ「日本学生科学賞」で3等賞。シュレーゲル・アオガエルの観察
12月
福寿野公民館誕生（34坪、総工費208万円）
12月12日
舟形郵便局移転、新築、業務開始



完成が待たれる長者原橋



交通安全を守る家の会員の街頭PR



広報ふながた100号を迎える



再試掘される堀内油田



野田地区開田工事起工式

世界と日本

2月4日
全日空機東京湾墜落、133人死亡
3月4日
カナダ航空DC8型、羽田空港に激突、死者64人
3月5日
BOACボーイング707型機富士山で空中分解、124人死亡
4月4日
NHKテレビの「おはなはん」平均視聴率50%を記録
6月30日
ビートルズ日本武道館で公演
11月3日
全日空機松山沖で墜落50人死亡

1月22日 県知事選挙
1月25日 当町初の農業振興懇談会
1月29日 衆議院議員選挙
3月 白バラ会発足
4月1日 農業委員会委員改選
4月 洲崎橋落成
4月 ホリエ電機舟形工場操業
(社員40名)
4月28日 町議会議員選挙、定数22名
から20名へ(投票率95.19%)
6月8日 舟形町庁舎新築工事起工式
9月1日 消防自動車更新
(第1部、340万円)
9月2・3日 山形青年大会で優勝。全国
青年大会へ
紫山 松本 英子(陸上)
紫山 海藤 幸雄(柔道)
舟形 鈴木 広友(柔道)
10月 長沢、堀内地区交通安全を
守る家の会結成



集中豪雨にみまわれた民家(堀内)



更新された消防自動車



操業した誘致企業 ホリエ電機

世界と日本

3月4日 外人初の関取高見山誕生
4月15日 東京都知事に美濃部さん
5月30日 東洋工業、ロータリーエンジン
を実用化
6月30日 自動車保有台数1,000万台を突破
10月9日 ボリビア陸軍、チェ・ゲバラの
死亡を発表
12月9日 都電銀座線廃止される

【選挙】1月は2回も大きな選挙があり、22日は山形県知事選挙で29日は衆議院議員選挙と続き、雪の中の選挙というのでその投票率がとても心配されたが双方70%以上という高い投票率を示し、わが町の政治への関心が高いことを示しました。また、任期満了となった町議会議員の選挙が4月28日に執行されました。定数が22名から20名となり、有権者が減っているというものの、激戦の結果、95.19%という高投票率をあげ、新人の議員が8人出て昭和生まれの議員も誕生しました。

【農業】稻作は霜害や水害に悩まされたというものの、比較的高温に恵まれたため、全般的には史上最高の出来高であった。機械化がめぐるしく発達し、稻刈機も随分使われ、協同化も行われた。農家の人们は「商品」としての米を作る自覚で、本当に市場性の高い良質の米を生産するため努力した。

2月18日 5代目町長に澤内甚一郎氏
就任
(澤内2,873票、奥山与市郎
2,065票、投票率91.19%)
3月 舟形橋に歩道橋完成
(工事費2千万円)
3月7日 町消防団、消防庁長官賞受賞
6月1日 新町内会「西堀」誕生
6月1日 新庁舎にて業務開始
6月10日 交通指導員が設置され6名
が就任
7月7日 参議院議員選挙
7月 町の人口9,000人を割る
7月13日 太平パイロット開田入札
7月22日 第1号名誉町民に星川澈太
郎翁決定
7月25日 庁舎落成式
8月29日 裏の山園場整備起工式
9月1日 太折部落消防団結成式
9月2日 除雪車購入(509万円)

完成した新庁舎



栄誉ある消防庁長官賞



町で最初の松橋ダム

世界と日本

2月24日 ライフル魔の金嬉老逮捕
4月8日 日通の福島前社長ら1億数万円
の横領容疑で逮捕
6月6日 ロバートケネディ凶弾に倒れる
6月26日 小笠原諸島 23年ぶり日本に還る
8月8日 札幌医大の和田教授、わが国初
の心臓移植
10月18日 川端康成にノーベル文学賞授与
11月27日 佐藤自民党総裁3選
12月10日 府中で銀行輸送車の3億円奪わ
れる



歩行者の安全を守る舟形橋歩道橋完成

【水害】7月29日朝の局地的集中豪雨の被害は余りにひどく、ただ呆然と驚くばかりであった。堀内地区では人が倒壊し、崖崩れの土砂が家屋を埋めるという無惨な爪あとを残し、町の被害金額は約2億円で、人畜に被害がなかったことだけが不幸中の幸いであった。

【消防】昭和28年購入の自動車ポンプに代わり、新しい消防車が9月1日あたかも防災の日と同じくして配置された。140馬力、吸水が早くレバー1本で駆動できる独自の設備を持ち、化学消火器を搭載し、油火災等に威力を発揮する性能を持ち、価格は340万円だった。

【工場誘致】農村からの人口の流出を防ぐため、町が誘致したホリエ電機舟形工場が4月1日より操業した。場所は舟形映画劇場を仮工場とし、町内より応募した40名の従業員で電気器具の部品製造を開始した。

【町長選挙】町長選挙が2月18日に執行され、町内15カ所の投票所で投票が行われた。各投票所とも好出足を示し、すでに午前中に60%を上回る投票率を示したところであった。特に出稼者の不在者投票が記録破りの好成績を示し、身近な選挙に対する政治意識の強さが現れていた。開票の結果、澤内甚一郎氏が当選。最終投票率が91.19%と高かったのは選挙民の政治に対する関心の深い表れと同時に、前年発足した白バラ会、明るく正しい選挙推進委員会の地味ながら強力な啓発運動によるものであろう。

【役場】役場新庁舎は、前年6月8日起工式を行い、2月20日に完成予定であったが、着工当初の遅れと凍結期のためコンクリート工事ができず、やむなく5月20日まで工事が延期され、6月に待望の新庁舎が完成し、事務が開始された。苦しい町の財源の中にあって9千万円

にのぼる費用を町の殿堂が完成したことは、町民の理解と協力のたまものである。斬新なスタイルで、近代的なこの庁舎は、明るい町づくりを象徴するものである。

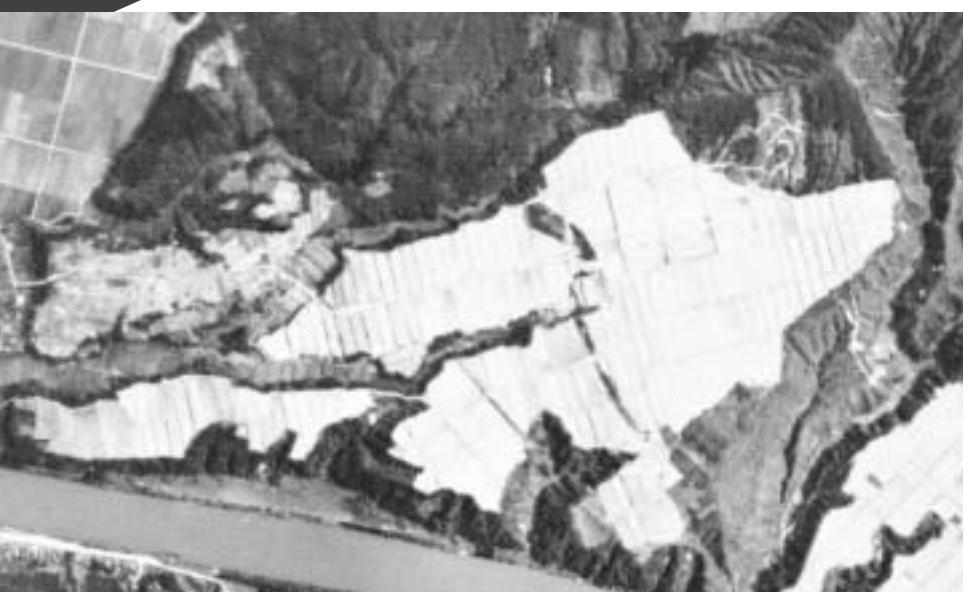
【名誉町民】7月22日の臨時町議会で名誉町民条例の第1号として、星川澈太郎翁を満場一致で決定した。名誉町民の称号を贈られた星川翁は明治12年8月18日生まれで、満年齢88歳であった。医師としての傍ら、政治家としてもその功績は高く、名誉町民の称号にふさわしい方であり、米寿を迎えてなお「生ある限り世のため、人のために尽くしたい」と語ったという。

【消防】本町消防団が3月7日、日本武道館で天皇・皇后両陛下の御臨席のもと、日本消防20周年記念に当たり、設備と組織の優秀さが認められ最高の栄誉というべき、消防長官賞を受賞しました。

1969

(昭和44年)

1月14日 舟形中学校理科クラブ文部大臣賞に輝く（クラブ員15名）
 2月28日 星川敏太郎氏に第1号名誉町民章を贈る
 4月1日 農業委員会委員改選
 4月1日 交通災害共済制度始まる
 4月13日 舟形地区農集電話開通記念式
 7月7日 舟形町観光審議会発足
 7月13日 舟形友の会結成式（東京にて250名参加）
 8月8日 災害対策本部設置（中小河川が氾濫。被害約3億円、死亡1名）
 8月18日 舟形第一次簡易水道工事入札着工（8,880万円）
 8月29日 舟形中学校米飯給食開始
 8月30日 猿羽根山が県青年大会相撲会場となる
 9月12日 富田ホーヤ沢開田落成（75ha、総工費1億400万円）
 10月27日 堀内母子センター起工式
 11月15日 富田公民館落成式
 12月19日 長沢駅在所落成式
 12月23日 清水、舟形線踏切開通式
 12月25日 衆議院議員選挙



8月8日の集中豪雨は重要河川をも襲った

【教育文化】舟形理科クラブが第9回学生顕微鏡観察コンクールで全国から応募した1,726点中、「オタマジャクシからカエルになるまでの歯列の生え方、それによる種類の識別方法」の研究で最高賞の文部大臣賞を受賞した。

【災害】8月7日～8日にかけて襲った豪雨は230ミリを記録し、1人の犠牲者を出し、3億円余の被害を与えた。しかし町民が一体となり、各所で必死の作業を続け被害を最小限にいくとめた。

【ふながた友の会】結成式が7月13日午後2時より東京都下目黒雅

世界と日本

1月20日 第37代米国大統領にニクソン氏
 4月28日 ドゴール大統領、選挙に敗れて辞任
 5月26日 東名高速道路開通
 7月21日 人類ついに月に立つ、アポロ11号のアームストロング月に一步
 10月29日 人工甘味料チクロの使用禁止
 11月16日 南ベトナムでのソンミ村虐殺事件が明るみに
 12月18日 英国、死刑廃止制度を決定

叙園觀光ホテルで会員250名の参加で行われた。これは会員の友情と親睦を図り郷土舟形町の発展に寄与しようというもので、初代会長に叶内安彦氏（長者原出身）が推挙された。

【建設】野・瀬見間の国道47号線が改良、舗装完了。清水・舟形線西の前奥羽本線踏切前後改良、舗装共に完成。なお、公営住宅として15戸舟形小学校の下に建設し、排水路工事、整地工事に併せて1,600万円を投入し、着工した。

1970

(昭和45年)

1月28日 長沢地区農集自動電話架設（264台、町の普及率75%に）
 3月 老人家庭奉仕員制度生れる
 4月25日 堀内母子センター業務開始
 5月4日 最上川堀内築堤落成式（739m、5力年、総工費1億8,700万円）
 5月24日 過疎地域に指定（県内10町村）
 8月1日 広域行政し尿処理場操業
 8月31日 裏の山ほ場整備事業竣工
 9月 舟形下の河原地区の町営住宅5力年計画完了（32戸）
 10月1日 第11回国勢調査人口8,397人
 10月15日 全国消防操法大会出場（自動車第1部）
 10月27日 猿羽根山観光事業竣工式（大鳥居、休憩所、その他）
 11月12日 最上広域市町村圏事務組合発足
 11月12日 富田出身の柄桜光輝が十両入り
 12月1日 中山金吉氏に第2号名誉町民贈る
 12月2日 新鋭雪上車を母子センターに配置（県内に6台）
 12月15日 舟形町第一次簡易水道竣工式（舟形、長沢地区）
 12月26日 山形県知事選挙



世界と日本

3月14日 日本国博開催
 3月31日 日航機に「よど号」が赤軍派の学生に乗っ取られる
 4月5日 沼田義明、世界ジュニアライト級のチャンピオンに
 8月1日 銀座・新宿に歩行者天国登場
 9月28日 さようなら蒸気機関車、SLブルーム起こる
 10月29日 佐藤首相、わが国の議会政治史上初の4選
 11月2日 巨人6年連続の日本一



これらの保健指導や健康診断など町民の保健面に利用してもらうもので、総工費870万円で、堀内に建設完成した。

【水道事業】住民の公衆衛生の向上、増進に大きな影響力をもつ水道事業が昭和44年、45年の2力年の歳月と1億1千万円の巨費を投じてめでたく完成した。長沢地区、舟形地区の住民704戸3,800人を対象に給水された。

【相撲】角界入りした柄桜光輝君が秋場所は幕下5枚目にあって5勝2敗と好成績をあげ、番付会議で満場一致の推薦を受け、11月15日からの大相撲九州場所では新関取として堂々と場所にのぞんだ。

【名誉町民】中山金吉氏、52年の長きにわたり、地下資源の開発など産業の発展と近代化に貢献した偉大な業績に対して贈られた。

1971

(昭和46年)

1月 3日
長沢地区公民館落成
(木造2階建218m²、工事費655万円)

2月 19日
全国優良町として表彰

3月 30日
堀内小学校実栗屋分校閉校
4月 25日
町議会議員選挙、定数20名から18名へ (投票率94.34%)

5月 13日
地方自治発展の功績により渡辺忠五郎氏勲五等瑞宝章受章

5月 14日
堀内内の富櫻富士男さん、技能オリンピック木工部で県優勝、全国大会へ
6月 12日
猿羽根山相撲場落成、栃桜閣ら3名の力士参加

6月 17日
堀内小学校新築起工式
7月
全戸に町の意識調査実施

7月 19日
町民プール完成並びにオープン (長さ25m、深さ1.3m、6コース)
8月 29日
名誉町民故星川懶太郎翁町葬 (享年92才)

9月 12日
東北・北海道民俗芸能大会に県代表として、堀内田植踊り出場
11月 1日
堀内診療所開設 (佐藤医師赴任)



【農業】この年の稲作は出穂期の低温とイモチ病、ウンカなどの異常発生により、平年の20%の減収となった。

【選挙】18の議席をめざして激しい選挙戦を繰り広げた町議会議員選挙が4月25日に執行された。その結果、現14名、元2名、新2名の当選者が決定し、住民の代表として地方行政の確立のため献身されることを約束した。有権者数5,582名で、投票率は94.34%であった。

【教育・文化】1月28日、冬期間における家庭婦人の学習と体力づくりを図ろうと軽スポーツ講習会が町内の若妻会、婦人会約120名を集めて舟形小学校で開催された。“サンサ時雨”“紅花摘唄”的舞踊を厳しい寒さの中三時間も熱心に受講し、完全にマスターした。

地域住民の実際生活に即する教育、文化に関する各種行事を行い、社会福祉の増進に寄与する場として、地元の住民の地域ぐるみの運動により、待望の長沢地区公民館が完成し、1月3日に竣工式が挙行さ

れた。

町ではマイクロバスを購入、児童生徒の送迎に活用し始める。実栗屋、西又、松橋の児童生徒はこれを利用しているが、全面的に運行計画を立て、全面的に活用された。

舟形町立堀内小学校の第1期工事の新校舎が完成し、12月の上旬より待望の新教室で勉強できるようになった。新校舎は実栗屋分校と統合されたもので、第2期工事は、鉄骨平屋建の屋内体育館が建設される。

【農協合併】米の過剰と生産調整、農業労働力の流出など、農業の面している問題が余りにも厳しい状況にあることから、地域農業の中心的担い手となる農協が一行政区内で一本化し、町と一体化し、町と密接なつながりを持ちながら進めていってこそ地域農業の振興を円滑に推進できるものと考え、多くの話し合いをもち、相互に理解して堀内、舟形、長沢の三農協の合併予備契約が調印になった。

1972

(昭和47年)

1月 13日
札幌冬期オリンピック聖火リレー通過

2月 3日
山村振興地域に堀内地区認定

2月 17日
澤内甚一郎氏、町長選挙無競争当選

3月 25日
農業委員会委員改選 (この年から定数10名に)

4月 1日
新農協発足、業務開始 (堀内・長沢に支所設置)

5月 19日
堀内地区農集電話施設落成式 (母子センター)

7月 4日
名誉町民故中山金吉氏町葬

7月 19日
長沢小中学校プール落成式

7月 22日
福寿野児童プール落成式

8月 3日
皇太子御夫妻奉迎 (インターハイに来県)

8月 14日
猿羽根山展望台落成式

8月 17日
堀内診療所医師住宅竣工

9月 12日
第二次水道事業起工式

11月 2日
堀内小学校落成式 (2カ年、総面積1,975m²、総工費1億円)

11月 9日
自治消防の貢献で森政秀氏勲五等瑞宝章受章

12月 10日
衆議院議員選挙投票日

12月 25日
株ウツシカワ誘致決定、本契約



猿羽根山展望台



山村振興特別調査団と語る (松橋地区)



新築された堀内小学校



無雪の冬 (写真は内山地内)



野田地区開田工事起工式

世界と日本

2月 2日
元日本兵横井庄一さん、31年ぶりにグアム島のジャングルより故国に帰る
2月 28日
あさま山荘の連合赤軍全員逮捕
3月 15日
新幹線新大阪～岡山間開通
4月 16日
ノーベル賞作家川端康成氏自殺
5月 15日
沖縄27年ぶりに日本に復帰
7月 6日
田中内閣誕生
7月 9日
第20回ミュンヘンオリンピック大会男子バレーボールで日本優勝
9月 29日
日中共同声明調印
11月 6日
北陸トンネルで急行炎上

候補者が澤内甚一郎氏1人となり、無投票当選となった。

【観光】第2次猿羽山観光整備事業完成。大鳥居、展望台、野外ステージ、アヤメなどが咲き、観光地として年々整備されていった。

【農業】昭和45年度から3カ年計画で総面積120ha総工費1億5,340万円で行われた富田圃場整備が完成。また、実栗屋桑園造成パイロット事業が12haにわたって完成。これで桑園は大平地区21ha、西又地区5ha、松橋地区4haとなった。

第2次簡易水道事業が2カ年計画により、堀内地区等8部落を対象に始まり、町全体の70%以上の家庭に水道が入ることになる。

1973

(昭和48年)

- 1月1日 青年センター完成オープン
3月1日 広域消防舟形分署開設
3月2日 消防功労により中山敬治郎氏、藍綬褒章受章
4月11日 平沢地区「山崩れ」災害で被害額4億円を超し、奥羽本線20日間不通
5月2日 猿羽根山において植樹祭
6月5日 最上由紀子「初恋」で歌手デビュー
7月20日 奥羽自動車部品工場進出調印
7月25日 在京児童招へいに東京都港区立飯倉小学校招待(32名民泊)
7月26日 奥羽本線複線化工事起工式(舟形~芦沢)
8月6日 企業誘致ウツシカワ縫製工場操業
10月16日 中央公民館地鎮祭
10月17日 第1回福祉大会並びに老人スポーツ大会(350名、舟小)
11月2日 長沢、堀内両小学校創立百年祭
11月11日 歌手最上由紀子後援会結成記念ショー(会員1,170名)
12月 当町初の消雪道路完成



当町初の鮎の養殖(内山)



消雪道路で無雪の冬



平沢地区を襲った山崩れと水害

【災害】4月11日、雪解けのために地盤がゆるみ、猿羽根山地蔵尊の裏山平沢地区で3度にわたり山が崩れ、奥羽本線のダイヤが不通となり、平常ダイヤになるまで約1ヶ月を要しました。
企業誘致第1号のウツシカワ舟形工場が操業を開始し、男子型企業奥羽自動車部品工業の誘致も決定しました。
「ふるさとのない子供たちにふるさとを」をキャッチフレーズに、東京都港区立飯倉小学校の児童32名を招きました。子供たちは皆民泊して田舎の空気を満喫しました。



青年センター、消防分署がオープン



猿羽根山植樹祭

世界と日本

- 3月9日 連続女性誘拐殺人犯大久保清死刑確定
3月20日 水俣病判決、患者1人最高1,800万円、総額9億3千万円
8月8日 金大中氏誘拐事件
10月21日 滋賀銀行女子行員9億円詐欺事件
10月23日 江崎玲於奈にノーベル物理学賞が贈られることが決定する
11月14日 関門橋開通
11月29日 熊本市大洋デパート火災103名死亡

1974

(昭和49年)

- 1月29日 役場に豪雪対策本部設置(被害総額1億1,153万円)
4月1日 町の課制6課になる(新設厚生課)
4月20日 舟形駅無人化反対町民総決起大会
5月 桜桜闇引退
5月4日 長尾橋永久橋として完成(工費5,900万円)
7月 町誘致の男子型企業奥羽自動車部品工業着工
7月7日 参議院議員選挙
7月17日 重度身体障害者療護施設「光生園」着工
8月1日 集中豪雨で災害対策本部設置(被害額約11億円)
11月1日 町政施行20周年式典・舟形町中央公民館落成
11月1日 叶内安彦氏に第3号、渡辺忠五郎氏に第4号名誉町民贈る



新しく出来た舟形町中央公民館



近年にない大雪にみまわれた舟形町(舟形駅前)



新築の公民館で行われた町制施行20周年式典



8月1日の集中豪雨。濁流にのみこまれる民家(長尾)



軒先まで積もる雪



長尾地区に永久橋完成(旧吊り橋をしのぶ)

世界と日本

- 5月18日 インドが初の地下核実験
8月30日 三菱重工業本社で時限爆弾爆発(三菱重工爆破事件)
10月6日 宇宙戦艦ヤマト第1作放映
10月8日 佐藤栄作元首相にノーベル平和賞が贈られることが決定する
11月1日 気象庁のアメダスが運用開始
11月18日 フォード米大統領来日
12月9日 金脈問題で田中首相辞任
三木武夫内閣発足

1975

(昭和50年)

3月15日 農業委員会委員改選
4月13日 県議会議員選挙
4月27日 町議会議員選挙
5月1日 重度身体障害者療護施設「光生園」オープン
7月 堀内小学校プール落成
8月 奥羽自動車部品工場操業開始
8月 ダイヤル式電話開通
9月7日 富長小学校創立100年祭
10月 沖の原公民館落成
10月1日 国勢調査の結果
人口8,033名
12月16日 舟形町保育所増改築竣工式
(総工費2,517万円)



特殊浴槽などで介護をする寮母（光生園）



富小創立100年祭



広報ふながた 200号を迎える



近代的な公害防止設備をもつ工場（奥羽自動車部品工場）

世界と日本

1月1日 青木湖・スキーバス転落事故
3月10日 山陽新幹線・岡山駅～博多駅間開業
4月30日 サイゴン陥落によりベトナム戦争終結
7月19日 沖縄国際海洋博覧会開幕
9月22日 エニックス設立
11月15日 第1回主要国首脳会議がランブエイで開催

【光生園を開設】東北地方初の重度身体障害者療護施設「光生園」が完成しました。敷地面積約2千m²に鉄筋コンクリート一部二階建ての建物が、総事業費約3億円で建設されました。35名の職員が指導員として採用され、70名の利用者の介護をします。

【企業誘致と環境保全】株式会社カワニ新潟と、奥羽自動車部品工業株の誘致が実現しました。町では出稼ぎ問題や所得向上への解決策に、また「農工一体」の施策の実現へつながればと期待されました。しか

し、その反面、時代のすう勢は開発から環境保全へと注がれています。当町においても、緑豊かな自然と、清流小国川の保護のため、公害防止協定を奥羽自動車部品工業株と締結しました。富長小学校の前身である、舟形西部、南部両小学校の創立100周年を迎えることになりました。沿革誌によると、富田小学校は明治8年、長者原小学校は翌9年に開校され昭和33年4月に統合して現在の地に移り、富長小学校となりました。

1976

(昭和51年)

2月15日 第7代町長に沼澤長吉氏就任
4月 役場機構改革
5月 舟形駅無人化反対運動
8月1日 西の又分校プール落成
8月6日 集中豪雨
(被害額14億円余)
9月13日 60年来の異常天候で冷害対策本部設置
9月1日 消防団長に井上武彦氏
11月6日 弁当持参給食始まる
12月5日 公職選挙法改正後初の衆議院議員選挙
12月11日 町営住宅完成
(4階建て、16戸)
12月 実栗屋町内30戸移転完了



新町長、町内12会場で町政座談会（長沢会場にて）



舟形駅無人化反対運動



役場に設置された2つの対策本部

世界と日本

1月31日 鹿児島市で国内初の5つ子誕生
2月 ロッキード事件
3月2日 北海道道庁爆破事件
6月10日 札幌市営地下鉄東西線（琴似駅～白石駅間）開業
9月6日 ベレンコ中尉亡命事件
9月15日 三木改造内閣発足
12月24日 福田新内閣発足



高層町営住宅が完成

を要請しました。

【給食】町内の小中学校では11月から、将来の食糧事情等を考慮し、週2回の弁当持参による給食を開始しました。パンによる完全給食を週4回、ご飯を持参しあかずは学校で調理する弁当持参の米飯給食を週2回行いました。

1977

(昭和52年)

1月22日 斎藤好松氏、藍綬褒章受章
 2月 真見祐臣氏、勲五等瑞宝章受章
 3月29日 各種事業合同竣工式（舟小便所改築、西又児童プール、公営住宅、第二舟形簡易水道、建設機械格納庫、西又教員住宅）
 4月30日 町体育協会設立
 5月 異常天候で折衷苗代大被害
 5月28日 舟形駅在所新築
 6月20日 猿羽根山に新土俵場完成
 7月1日 名誉町民の渡辺忠五郎氏町葬
 7月 新土俵完成を祝い、元十両桜を招いての猿羽根山相撲大会
 8月 第1回社会教育まつり開催
 8月 町民グラウンドに夜間照明施設完成（1,600万円）
 9月9日 町で初めての青年海外研修派遣事業実施（アメリカ各地に10名）
 10月 県知事選挙
 11月 長沢地区公民館に専従職員2名を配置
 11月 舟形中学校創立30周年式典
 12月 国道13号線舟形大橋完成



社会教育祭りで行われたスポーツ少年団のキャンプファイヤー



夜空をこがすナイター野球（町民グラウンド）



新土俵完成を祝い、元十両桜を招いての猿羽根山相撲大会



国道13・47号の重要地点、舟形大橋完成

1978

(昭和53年)

1月15日 NHK全国夏青年の主張全国大会へ伊藤淳子さん（大平）出場
 2月4日 舟形駅無人化
 3月 第2期町営住宅完成（4階16世帯）
 4月1日 農業委員会委員改選
 4月 奥山与市郎氏、勲六等単光旭日章受章
 森 重治氏、勲七等青色桐葉章受章
 叶内庄五郎氏、勲五等瑞宝章受章
 林 茂夫氏、勲五等瑞宝章受章
 6月 「YBC 6時です。舟形ナウ」放映される
 7月 大平児童プール完成
 8月21日 長沢小唄誕生パレード
 11月1日 老人いこいの家「清流荘」完成
 11月 長尾公民館竣工
 第1回県青年洋上大学



大平児童プール完成に賑わう



老人いこいの家「清流荘」完成



長沢小唄パレード



堀内地区を健康管理推進地区に指定

【舟形駅】明治35年の開設以来74年間、舟形の表玄関の役割を果たしてきた舟形駅が2月4日から無人駅として再出発しました。49年から始まった反対運動は、国鉄・国・県への陳情、町民会議2回、常任委員会開催11回、特別委員会10回に達し、町始まって以来の町民一体となった大運動でした。

【青年の力】町連合青年団が議場において青年議会を開催しました。これは学習活動と町づくりに青年の意見を役立ててもらおうと実施したもので、当日は一日議員に青年団員が、答弁者には町長はじめ町職員が出席。現在の深刻な問題の解決と未来の大きな夢の実現のため、また町への理解が深まった青年議会は意義深いものでした。

世界と日本

1月1日 EC、200海里水域宣言
 1月4日 青酸コーラ無差別殺人事件
 1月20日 アメリカでジミー・カーター大統領就任
 3月13日 神戸市営地下鉄西神・山手線の新長田駅～名谷駅間が開業

世界と日本

3月1日 日本一の高層ビル（当時）サンシャイン60完成
 3月16日 札幌市営地下鉄南北線延長部（麻生駅～北24条駅間）開業
 5月21日 成田国際空港（成田空港）開港
 6月12日 宮城県沖地震
 7月30日 沖縄、交通ルールを本土と同じに変更
 8月12日 日中平和友好条約調印

1979

(昭和54年)

2月11日 奥山与市郎氏に第5号名誉町民贈る
 3月23日 各種事業合同竣工式（簡易水道布設事業、老人いこいの家、大平児童プール、太郎野地区亜炭鉱害復旧事業）
 3月26日 3月26日
 林 茂夫氏に第6号名誉町民贈る
 4月22日 舟中第2グランドで行われたスキー大会
 町議会議員選挙（投票率96.67%）
 7月20日 太折地区児童プール完成
 7月25日 名誉町民奥山与市郎氏死去
 10月11日 亀割バイパス起工式



舟中第2グランドで行われたスキー大会



山形テレビ局で観光開発計画を話す



野地区で行われた温泉開発ボーリング

世界と日本

1月1日 アメリカ合衆国と中国が国交を回復
 1月26日 三菱銀行北畠支店獵銃事件
 2月1日 イラン革命
 2月17日 カンボジアをめぐる対立から中越戦争勃発
 3月28日 スリーマイル島原発事故
 6月28日 第5回主要国首脳会議東京サミット開催
 10月26日 天然痘が根絶とWHOが宣言
 12月24日 ソ連のアフガニスタン侵攻



太折地区児童プール完成

【合同竣工式】3月23日、各種事業合同竣工式（簡易水道布設事業、老人いこいの家、大平児童プール、太郎野地区亜炭鉱害復旧事業）が開催されました。施設用地の確保、設計、施工とこれまでの住民、業者一体となった成果を、土地提供者、工事関係者、町議会議員らの出席のもとに祝いました。

【亀割バイパス着工】10月11日、野地内において国道47号線亀割バイパスの起工式が行われました。最上・新庄を最短経路で結ぶ交通ネットワークを形成しようとするもので、野地内より小国川を横断し、新庄市休場を経て鳥越地区の国道13号線に達する延長9.1kmのバイパスです。

1980

(昭和55年)

2月4日 記録的な豪雪で豪雪対策本部を設置（西又分校で285cm記録）
 2月17日 第8代町長に澤内甚一郎氏就任
 4月1日 光生園30床増床
 6月22日 衆参両議院議員選挙
 8月11日 農作物異常低温対策本部設置
 10月1日 国勢調査の結果、人口8,026人
 11月 阿部フミ工氏、勲六等宝冠章受章
 12月21日 歳末たすけ合いチャリティーショー
 12月25日 猿羽根山に歴史民俗資料館完成（総工費4,000万円）



3回目となる「農業後継者研修会」に参加する中学生



記録的なドカ雪に襲われる町内



近岡代議士と共に冷害被害状況を調査する町議



長沢の叶内篤さんから譲り受けた200年前の農家住宅を解体・復元した民俗資料館

世界と日本

1月5日 ヒューレット・パッカード社が同社初のパーソナルコンピュータを発表
 4月1日 広島市が10番目の政令指定都市になる
 4月18日 ジンバブエがイギリスより独立
 6月12日 太平正芳首相が急死、内閣総辞職
 8月19日 新宿西口バス放火事件
 9月22日 イラン・イラク戦争勃発

【町長選挙】澤内甚一郎氏が沼澤長吉氏に521票差を付けて三度目の当選を果たしました。開票結果は澤内甚一郎3,125票、沼澤長吉2,604票、無効票26票、不受理7票、投票率97.71%でした。澤内町長は

農業を基幹とする生産基盤の再編成
 働く場所の確保と既存企業の拡充促進
 公共事業の推進と各地域の環境整備
 教育施設等の整備拡充と福祉事業の推進
 を町方針の重点に掲げました。

【異常気象】今年の異常低温気象は昭和51年の冷害よりもさらに悪く、特に松橋地区では、被害率が約9割に達しました。町では、8月に設置した「農作物異常低温対策本部」を9月には「農作物冷害対策本部」に切り替え、冷害対策にあたりました。

【中学校統合】三校統合を目標として、各地で部落座談会を開き、住民と話し合いを進めてきましたが、長沢地区の賛同が得られず、舟形中学校と堀内中学校との二校統合にとどまることになりました。このことは、九月定例議会で承認され58年4月1日の開校を目標としました。

1981

(昭和56年)

2月28日
長沢保育所完成
(8,150万円)
3月14日
B & Gセンター開所式
4月1日
農業委員会委員改選
6月23日
最上川で警戒水位突破
7月18日
農業青年会議所による農産物直売場が猿羽根山にオープン
8月
幅に戦没者慰靈碑を建立
8月
松橋に多目的集会施設完成
(1,160万円)
9月
第1回舟形若鮎まつり開催
9月27日
県知事選挙
10月28日
異常気象農作物被害対策本部設置
12月
新商工会館完成
(5,030万円)



完成した長沢保育所



B & Gセンター開所



舟形保育所の園児が光生園で運動会



老人世帯の屋根の雪下ろしをする連合青年団

世界と日本

1月20日
ロナルド・レーガンが第40代アメリカ大統領に就任
3月20日
中国残留孤児が初来日
4月12日
スペースシャトルコロンビアが初のスペースシャトルミッションで打ち上げ
6月
秋田空港開港
7月29日
ダイアナ妃とチャールズ皇太子がご成婚

【生活環境整備を推進】町内の農業用排水路の大部分が自然の土水路であり、道路側溝を通じて家庭排水や雨水が流れ込み、快晴が続くと汚水がたまり不衛生となり、豪雨時には畑や宅地に水が溢れ被害を及ぼしている現状です。この対策の一つとして、集落排水処理施設が長者原地区に設置されることになりました。今後、各町内で実施していきます。

1982

(昭和57年)

12月
真見祐臣氏に第7号名誉町民贈る
3月23日
西又分校閉校
4月28日
長尾に松原鮎センター完成
6月13日
県内初のカヌー競技長沢で開催
6月29日
B & G海洋センターにプール完成
9月20日
町に初の銀行オープン
(殖産銀行新庄支店舟形代理店)
11月3日
長沢地区特産物即売センターオープン
11月
野に林業センター完成
12月1日
西又分校跡地に集会施設完成
12月27日
名誉町民 叶内安彦氏逝去



閉校した西又分校



B & G海洋センターにプール完成



横綱北の湖がひょっこり来町



復活した長沢和紙

世界と日本

2月8日
ホテルニュージャパン火災で33人死亡
2月9日
羽田沖で日航DC-8が墜落し、24人が死亡
6月23日
東北新幹線盛岡駅～大宮駅間開業

【青年団が老人世帯の雪おろし】2月21日、連合青年団の団員約60名が、ボランティア活動の一環として、10軒の一人暮らしの老人宅の雪下ろしをしました。お年寄りの雪下ろしは大きな負担であったため、大変喜ばれました。

【松原鮎センター完成】4月28日、長沢字長尾地内に松原鮎センターが完成しました。三光堰土地改良区では、鮎の養殖は始めたばかりで試行錯誤の連続ですが、なんとかこの事業を成功させようと懸命に頑張っています。この事業により、鮎の安定供給が実現するものと期待されています。

【B & G海洋センタープール完成】6月29日、B & G財団の援助により上屋根付きプールが完成しました。7月からは一般開放されたことに伴い、スイミングスクールなども開講され、水泳の指導も行われています。

【長沢和紙の復活】11月3日に完成した長沢地区特産物即売センターでは、本格的に長沢和紙を漉き始めました。この程行われた紙漉きの実演では、長沢小の児童や報道関係者が多数訪れて見学しました。現在紙漉きは県内では、白鷹町と上山市にあるのみで、新聞報道で話題を呼んでいます。

1983

(昭和58年)

1月
幅分校隣接地に高齢者コミュニティセンター完成
1月22日
長沢和紙、NHK朝のラジオ番組で紹介
1月
富長小学校児童28名が飯倉小学校へ
3月4日
統合中学校(舟中・堀中)で初の入学式
町農業青年会議所が「全農新聞賞・若い農業者グループ活動コンクール」で農林大臣賞受賞
3月
舟中・堀中閉校
4月6日
統合中学校(舟中・堀中)開校
4月24日
町議会議員選挙
5月28日
山交バスが松橋まで路線延長
8月17日
全国初の鮎塚建立
9月12日
舟形中学校竣工式
12月
町保健センター完成
(1億2,500万円)
12月
南部保育所完成
(1億3,200万円)
12月18日
衆議院議員選挙



世界と日本

4月15日
東京ディズニーランド開園
5月26日
日本海中部地震
9月1日
大韓航空機墜落事件
10月12日
ロッキード事件の裁判の一審で、田中角栄に懲役4年、追徴金5億円の有罪判決



【長沢駅無人駅に】大正4年の開業以来67年間、長沢地域の発展に貢献した駅舎の無人化は人々から惜しまれています。

【統合中学校】近代的な設備の新校舎は9つの普通教室と11の特別教室、体育館と食堂があります。これまでの校舎に比べると、広々とした間取りで、採光を十分に考えた明るい校舎になっています。建設

に当たっては、現場の教職員の意見を参考にし、使いやすさ、温かさを考慮した設計になっています。

統合中学校の建設は10数年来の懸案であり、約10億という巨額の費用を投じた町の大事業でした。今年度は三校統合になりませんでしたが、今後もその実現を目指していくことになっています。

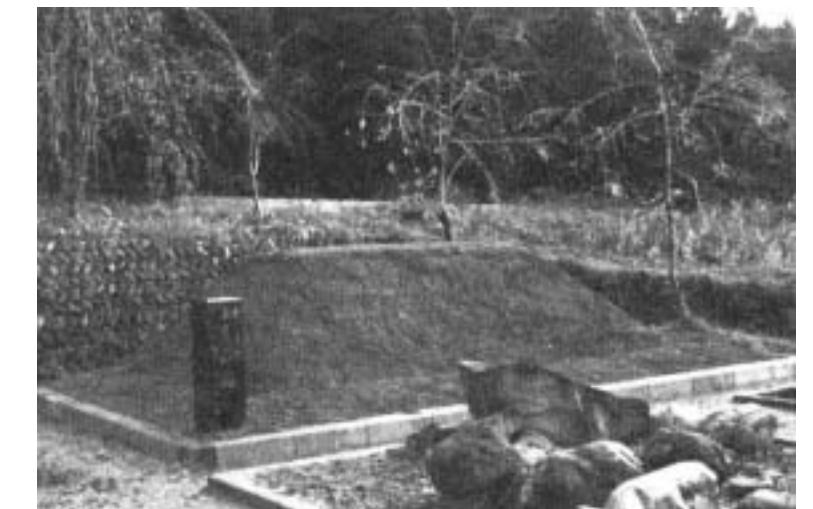
1984

(昭和59年)

2月13日
第9代町長に澤内甚一郎氏就任
3月1日
町施行事業合同落成式(保健センター、南部保育所)
4月1日
農業委員会委員改選
10月1日
町民憲章、舟形町の自然が決定される
10月1日
印鑑登録証明が直接式から間接式に
10月
町道舟形太郎野線完成
11月1日
町制施行30周年記念式典
11月10日
猿羽根山に町の木であるえんじゅを記念植樹



5月中旬なのに除雪車が出動(西又)



舟小で創立100周年を記念して校庭にタイムカプセルを埋設

世界と日本

1月18日
福岡県の三井三池鉱業所の有明鉱抗内火災、一酸化炭素中毒で83人死亡
2月13日
冒険家の植村直己が行方不明に
3月18日
グリコ・森永脅迫事件、一連の事件は2000年に未解決のまま時効に
9月19日
東京・永田町の自民党本部が放火炎上
10月25日
オーストラリアからコアラ6頭が贈られ、日本に初上陸
11月1日
新紙幣発行「1万円札福沢諭吉」「5千円札新渡戸稻造」「千円札夏目漱石」

【城南電器が操業開始】奥羽自工株、株式会社ウツシカワに次いで、町で3番目の大型企業として株式会社城南電器が西堀地区に誘致されました。城南電器は京都に本社を持つ弱電部門の会社です。町内外から50名の女子従業員を募集し、舟形工場として操業を開始しています。

【雪どけ前に苗の種付け始まる】降雪量が多かったため今年は雪どけが遅く、いつもと比べて1週間から10日遅れています。写真の上部には、とけきっていない雪が見られます。

【5月中旬に除雪車出動】昨年から今年にかけて、松橋で最高積雪深が3m27cmを記録。雪どけが遅れたため、5月中旬にもかかわらず西又の高原開畠地に除雪車が出動しました。

【町民憲章、町の自然が決定される】かねてより町民の皆様に募集し

ていた町民憲章、町の自然が、制定委員会で慎重に検討された上10月1日に制定されました。

【町制施行30周年記念式典】11月1日、舟中を会場として、300名の関係者の参加のもとに町制施行30周年記念式典が行われました。猿羽根山太鼓の勇壮な響きのオープニングに始まり、各分野の表彰、町民憲章及び町の自然が発表されました。

【猿羽根山にえんじゅの木】町制施行以来30周年を記念して、町の木に指定されたえんじゅの木の植樹が11月10日に行われました。猿羽根山に建設中の体験実習館の敷地内に20本余りを1本1本ていねいに植えていきました。

1985

(昭和60年)

3月3日
町制施行30周年記念
「雪まつり」開催
3月
太郎野分校・大平分校閉校
4月1日
山交バスに代わり、町営バスが運行（上長沢～木友）
4月1日
農業委員会委員改選
5月15日
猿羽根山に石碑と歌碑建立
6月
町営住宅3号棟完成
7月1日
猿羽根山体験実習館オープン
9月16日
山形県知事選挙、山形県議会議員補欠選挙
10月
大折地区多目的集会施設竣工
11月
県営富田地区湛水防除事業
・農道整備事業竣工
12月
町内4つの小学校にスノーモービル導入
10月1日
国勢調査の結果、人口7,920人



町営バス運行開始



農業体験実習館オープン



新庄・尾花沢道路の早期着工へ向けて金丸信自民党幹事長（車中）へ陳情



石油・天然ガス試掘場（長者原）

世界と日本

3月14日
東北新幹線大宮駅～上野駅間開業
3月17日
科学万博つくば'85開催（～9月16日）
5月17日
男女雇用機会均等法が成立
8月12日
日航機墜落事故
9月11日
ロス疑惑の三浦和義が逮捕

【町政施行30周年記念「雪まつり」】舟形中学校を跡地を会場として、「雪まつり」が開催されました。雪像コンクール、かんじき競争、チビッ子相撲、親子ソリ引き競争がにぎやかに繰り広げられました。また、歌手の北見恭子さんを迎えてのカラオケ大会も盛況でした。

【太郎野分校・大平分校が閉校】児童数の減少と本校へのバス通学が可能となったことから、舟形小学校太郎野分校と長沢小学校大平分校が3月いっぱい閉校することとなり、それぞれ閉校式が行われました。

【県営富田地区湛水防除事業・農道整備事業竣工】富田地区的水田は

肥沃で地形的にも平坦な恵まれた耕地ですが、最上川・小国川との標高差が少ないために、大雨が続き河川の水位が上がると自然排水能力が低下し、たびたび湛水被害を被っていました。これを防ぐために昭和57年から着工し、完成いたしました。

太郎野～富田間を結ぶ基幹農道は、幅が狭く未整備のため農業振興の阻害要因となっていました。そのため、昭和49年度より道路改良、舗装を実施し、この度、竣工開通となりました。

1986

(昭和61年)

2月
亀割トンネル安全祈願祭
4月
三光堰融雪災害
5月2日
猿羽根山に斎藤勇氏の歌碑が建立、除幕式が行われた
6月21日
東京日本橋三越本店にて猿羽根山太鼓披露
7月6日
衆議院議員総選挙、参議員議員通常選挙
7月16日
東北中央縦貫道総決起大会（新庄市民文化会館）
7月31日
新舟形YK1号井（大平地内）で開抗式
9月
若鮎まつりで第1回ミス若鮎コンテスト開催
10月24日
農村環境改善センター完成
10月30日
鳥川大橋開通式
12月18日
堀内小学校大規模改修工事竣工、舟形中学校給食優良校文部大臣表彰受賞祝賀会



三光堰融雪災害（上）・三光堰導入路工事（左）



長沢小親子が福昌寺で座禅修行



鳥川大橋が開通し、舟形・大蔵間が近くなりました



初のミス若鮎

世界と日本

1月28日
スペースシャトル、チャレンジャー号爆発事故
3月5日
青函トンネルで本州と北海道が結合
4月26日
チェルノブイリ原子力発電所事故発生
6月1日
上野動物園のパンダ、トントン誕生

【三光堰融雪災害】長尾の国道47号亀割バイパス工事現場付近で大規模な地滑りが発生。4月17日頃から黒森山の中腹に亀裂が走り、大きいところで3mもの段差ができました。それにより三光堰の農業用水トンネルが破壊されているのが発見されました。このため、田植えへの影響が心配されました。小国川への水を直接導入することで、ピンチを切りぬけました。

【農村環境改善センター完成】10月24日、農村環境改善センター（総工費2億7,655万円）が完成し、竣工式典が行われました。また、ここには昭和58年度に完成した南部保育所もあり、今後の富長・堀内地区の拠点施設として重要な役割を果たすものと期待されています。

【鳥川大橋開通式】「知事さん、私たちが渡し舟で学校に通っている最上川に早く橋をかけて下さい」。一人の少女の手紙が実って、舟形町と大蔵村を結ぶ県道福寿野～熊高線の鳥川大橋が10月30日に完成し、開通式が行われました。板垣知事に手紙を書いたのは、馬形から大蔵村に通う青塚貞子ちゃん、大蔵村の小中学校に通っていましたが、洪水や風の強い日には舟が欠航し、学校にいけなくなることがしばしばありました。

【堀内小学校大規模改修工事竣工】堀内小学校は、昭和46年度に建設以来15年目を迎え、大規模な改修工事を行われていましたが、この度完成しました。

1987

(昭和62年)

1月25日 第1回新春町民なわとび大会開催
1月26日 国道47号バイパス長尾トンネル貫通式
4月1日 農村環境改善センターに堀内支所が移転
4月26日 町議会議員選挙、定数が18名から16名へ(投票率96.99%)
4月29日 経壇原に多目的集会施設完成
5月26日 伊藤重治郎氏が勲六等單光旭日章を受章
7月12日 新庄市民文化会館で猿羽山太鼓5周年記念リサイタル開催
8月13日 東京長沢朋の会が長沢の福昌寺に句碑を寄贈
9月20日 第1回東北輶馬競技舟形大会開催
10月29日 最上おこしワイドフォーラムin舟形開催
11月25日 舟形中学校に屋内相撲場完成
11月28日 長沢あいさつ橋開通
12月12日 阿部勤祥氏が勲六等單光旭日章を受章



南部子宝太鼓 (猿羽根山太鼓5周年リサイタル)



第1回新春町民なわとび大会

第1回東北輶馬競技舟形大会



新しく生まれ変わる“長沢あいさつ橋”

世界と日本

4月1日 国鉄が民営化され、JRグループ7社が発足
7月11日 世界の人口が50億人突破
11月6日 竹下登内閣発足
11月29日 金賢姫による大韓航空機爆破事件



澤内町長と中村最上町長との堅い握手 (長尾トンネル貫通)

【第1回新春町民なわとび大会】1月25日、第1回新春町民なわとび大会がB & Gセンターを会場に開催されました。大会には小学生から青年男女まで多くのチームが参加し、ぶっつけ本番のデコボコチームも有り、充分練習を積んで必勝を期してきたチームも有りで、緊張の中にも笑いのある、参加者約300名の賑やかな大会となりました。

【新生町営バススタート】昭和60年度より山交旅行バス㈱に運行を委託して、舟形・上長沢間を運行していましたが、山形交通㈱の舟形・松橋間と新庄・舟形・松橋間の2路線が3月31日で廃止になることから、それらに代わり町が地域住民の足を確保するために全線直営で運行するものです。運行するコースは、廃止となる路線とほぼ同一ですが、長沢方面から堀内方面まで直通で結ぶ路線も開設されました。

【猿羽根山太鼓5周年】7月12日新庄市民文化会館で猿羽根山太鼓5

周年記念リサイタルが盛大に行われました。猿羽根山太鼓は、昭和57年に佐藤充夫氏の多額の寄付と打ち手として猿羽根山太鼓忍会(代表者根田順一氏)が石川県の水舞流宗家、水野幸蔵氏の指導を受けて発足し、今年5周年を迎えました。5年間の中で、忍会の指導により南部子宝太鼓(南部保育所)、長沢三吉太鼓(長沢小)、富長若鮎太鼓(富長小)と猿羽根山太鼓の後継者が続々誕生しました。

【第1回東北輶馬競技舟形大会】9月20日、小国川河川敷千鳥地内において、第1回の東北輶馬競技舟形大会が開催されました。会場は今年整備され、参加した馬は75頭にもなりました。荷は軽量で約300kg、最重量で1050kgの荷を負いました。輶馬の蹄の音が小国川の瀬に鳴り響きました。

1988

(昭和63年)

2月1日 長沢小学校新校舎完成式
2月7日 第10代町長に沼澤長吉氏就任
2月22日 新舟形保育所完成
4月 斎藤好松氏が勲三等瑞宝章を受章
5月 第39回県高校総体陸上競技大会で奥山義行選手(福寿野出身)が日本高校新記録(200M)
5月5日 消防団長に伊藤昭八郎氏
6月17日 三光堰地区地すべり災害復旧事業竣工祝賀会
9月6日 水稲異常気象対策本部設置
10月 第43回国体で奥山義行選手二冠の栄誉に輝く(100M・400M)
12月18日 ミュンヘンオリンピック男子バレーボール金メダリスト中村祐造氏来町
12月27日 猿羽根山スキー場オープン(ナイター完備)



小国川につらなる“こいのぼり”



猿羽根山スキー場オープン



新長沢小学校落成



第20回町民大運動会 (障害物競走)

世界と日本

3月17日 東京ドームが完成
4月16日 映画『となりのトトロ』(宮崎駿)が劇場公開
12月1日 パンナム機爆破事件

【長沢小学校新校舎完成】昨年6月より着工された長沢小学校校舎改築工事が完成し、2月1日に完成式が行われました。新校舎は、総工費3億5千万円、鉄筋コンクリート3階建てで延床面積が約2,259m²あり、どの部屋も明るさをうまく取り入れた作りになっています。また、3月31日幅分校が閉校となり、4月からは本校に統合になります。

【町長選挙】今年は正月頃まで全く雪のない日が続きましたが、中旬頃より降り始めた雪は豪雪を記録する程で、大雪の中での選挙戦が展開されました。(沼澤長吉 2,883票、澤内甚一郎 2,690票、投票率95.29%)

【小国川につらなる“こいのぼり”】一の関町内会で、5月5日のこ

どもの日を祝い、地区の小国川河川敷に150匹のこいのぼりをあげました。地区のPTA、消防団員らが「こいのぼりをあげる会」を結成し、3月下旬から話し合いを重ね、準備を進めてきました。川の上にワイヤーを張り、その下のロープにこいのぼりを結び、春の小国川の上に色鮮やかなこいのぼりをあげました。気持ちよく泳ぐ姿は、多くの人の目を楽しませていました。

【国体で奥山義行選手二冠】10月15日~20日にかけて第43回国民体育大会が京都府において開催されました。奥山選手は、陸上部門での優勝候補最有力として今国体に出場、見事100M(10秒55、大会新)、400M(48秒17)で優勝を果たしました。

3月22日 大太鼓一人打競技全国大会で、曾根田順一氏が最優秀グランプリに
3月24日 舟形町きれいな水づくり推進協議会設立
4月29日 阿部源次郎氏が勲六等瑞宝章を受章
6月 第4次舟形町基本構想「ハピネスシップふながた」策定
7月 奥の細道300年記念猿羽根太鼓リサイタルに全国11団体が競演
7月23日 参議院議員選挙
9月 若鮎まつりに五月みどりさん出演。2日間で1万5千人の人出
9月 舟小相撲場完成
舟中相撲部全国大会でバス
ト8
10月 県より第1回優良納税市町村表彰受賞
10月8日 県知事選挙
11月6日 太郎野分校跡地に記念碑
12月 鈴木善蔵氏 勲六等単光旭日章を受章
12月15日 町営一戸建住宅が5戸完成
12月16日 和太鼓龍、修練道場設立
(和太鼓龍・連山順道を襲名)



30年ぶりに復活した幅神楽



全国大会でグランプリに



獣友会に仕留められお手上げの熊



舟小相撲場完成

【幅神楽復活】5月15日、幅の熊野神社の祭典が行われ、同神社の境内で幅神楽が披露されました。幅神楽は、昭和30年代まで引き継がれていましたが、その後30年間中断されていました。昨年の長沢小学校の落成式で、地区の人の指導で必死に練習した同小学校の児童により復活されました。このことがきっかけとなり、幅地区民が保存していくことを立ち上がり、地区的祭典で披露したものです。

【猿羽根太鼓リサイタル】芭蕉奥の細道紀行300年を記念した羽前の国舟形・猿羽根太鼓の第1回定期公演が6月24日、25日の2日間、長沢小学校で開かれ、合わせて約千人の観客が太鼓の技と勇壮な響きを楽しみました。公演の模様はYBCで放送されました。

【ふるさとまつりで仮装コンテスト】8月10日、第13回を迎えた「ふるさとまつり」が町民グランドを会場に行われました。グランド中央には5m程のやぐらが組まれ、午後6時からチビッ子レクリエーション大会に始まり、婦人会、そして恒例となった仮装大会には17団体が参加し、1,000人近い人々が10時半頃まで、真夏の夜の盆踊りを楽しみました。

【相撲場完成】舟形小学校に待望の相撲場が完成し、9月2日に土俵開きが行われ、安全祈願・土俵固めの後舟中相撲部による模範試合があこなわれました。心と体を鍛え、これからも優秀な成績をと期待しております。

1月 県内初の地籍情報管理システム導入
2月18日 衆議院議員総選挙
(投票率89.53%)
2月27日 第1回猿羽根山スキー大会開催
3月31日 ウド山斎場完成
(舟形町・大蔵村共立)
4月1日 農業委員会委員改選
5月8日 中央公民館にエレベーター完成
5月13日 東北ダートトライアル選手権開催
9月11日 県営ため池整備事業完成
(用排水施設整備)
11月30日 農業構造改善センター完成
(馬形)
10月 国勢調査の結果、人口7,806人
11月 過疎地域活性化計画策定
12月 第1回猿羽根山ナイタースキー大会



第1回猿羽根山スキー大会



移動系防災無線車により迅速な情報伝達が可能に



ウド山に新しい斎場が完成



東北ダートトライアル選手権

世界と日本

1月7日 昭和天皇崩御、皇太子明仁親王が即位し今上天皇となる。新しい元号「平成」を発表した
1月8日 元号が「平成」に改元される
4月1日 消費税開始(3%)
11月4日 オウム真理教によって坂本堤弁護士一家殺害事件発生
11月9日 ベルリンの壁崩壊

【第1回猿羽根山スキー大会】2月27日、猿羽根山スキー場で大回転競技大会がナイターで行われました。上々のコンディションの中、選手は小学生から一般まで90名近くエントリーし、巧みな技とスピードを披露してくれました。

【終焉の場が新たに】3月31日、総事業費1億9,900万円をかけて、待望の舟形町・大蔵村共立火葬場が完成しました。両町村で協議を重ねながら運営管理にあたります。

【中央公民館にエレベーター完成】5月8日、中央公民館にエレベーターが完成しました。これで障害のある方や高齢の方も3階までらくらく移動できるようになりました。

【東北ダートトライアル選手権】9月13日、160台の参加を得て一の関千鳥河川公園において開催されました。一日中車のエンジン音と、車がゲートを通過するたびにまきあげられる土ぼこりと、若者達の熱気とで、いっぱいになりました。

1991

(平成3年)

1月
猿羽根山トレーニングセンター完成
1月
伊藤允一氏が勲五等雙光旭日章を受章
3月16日
富長小学校新校舎完成
4月7日
県議会議員選挙
4月21日
町議会議員選挙（投票率95.27%）
5~6月
沼澤町長ヨーロッパ5カ国訪問
8月9日
日照不足による「異常気象対策本部」を設置
8月11日
農村環境改善センター脇に「舟形町農村広場」完成
9月23日
長沢八景の句碑完成
11月
奥山義行さん、石川国体陸上200mで優勝



老朽化する長沢中学校（右）

世界と日本

1月17日
湾岸戦争、イラク空爆開始
4月1日
スパイクタイヤの使用禁止
6月3日
雲仙普賢岳で大火碎流発生（死者・行方不明者37人）
6月20日
東北新幹線上野駅~東京駅間開業
ドイツ・ベルリンへの首都移転決定
12月25日
ソビエト連邦崩壊

【富長小学校新校舎完成】昭和33年に建設された旧校舎の老朽化に伴い、改築を進めていた富長小学校新校舎が、このほど完成しました。クラブハウスを備えた屋内運動場棟改築工事ももなく完成するはごととなっています。五月みどりさん（母親が長者原出身）が改築記念に自作の油絵を寄贈されました。

【長沢診療所閉院】昭和36年に舟形町に開業以来、岸先生は地域医療の重要性を深く認識され、医師としての使命感強く、30年間日夜を問わず地域住民の診療にあたられました。諸般の事業により、7月24日付で長沢診療所を閉じることとなりました。

【長沢中学校の統廃合について】県内では例のない「町民投票を目的とした条例」制定の直接請求がありました。代表者より町長へ条例制

定請求書及び署名簿が提出されました。それを受け、10月2日及び11日に臨時議会が開催され、質疑・討論の後採決された結果、廃案となりました。

【全国スボレク祭開催】第4回全国スポーツ・レクリエーション祭が11月9日から12日までの4日間、熊本県において開催されました。当町からは「男女混合綱引き」と「インディアカ」に山形県代表として参加し、熱戦が繰り広げられた結果「男女混合綱引き」がBクラス優勝、「インディアカ」がBクラス3位という快挙を成し遂げました。また、福寿野の奥山義行さんが石川国体陸上200mに出場し、見事優勝されました。平成4年のべにばな国体の男女総合優勝の大団圓となりました。

1992

(平成4年)

2月26日
第11代町長に鈴木勝治氏就任
3月19日
舟形児童館完成
5月7日
菊愛好会発足
7月4日
堀内バイパス完成（堀内）
7月26日
参議院議員選挙
8月27日
陸橋「奥羽橋」完成、沖の原から13号線へ
9月24日
国道47号亀割バイパス完成
9月28日
べにばな国体炬火リレー実施
10月5日
「べにばな国体デモスポーツ」インディアカ大会開催
10月6日
4,500年前の遺跡発掘
10月19日
殖産銀行舟形出張所オープン
11月7日
消防団長に松本博氏
12月
南一與四氏が勲五等瑞宝章を受章



野と松橋から炬火リレーがスタート



広報ふながた400号を迎える



インディアカにハッスルハッスル



鈴木勝治氏初当選

世界と日本

3月1日
暴力団対策法、育児休業制度施行
5月2日
国家公務員の週休2日制スタート
7月1日
山形新幹線開業
7月25日
バルセロナオリンピック開幕
9月12日
毛利衛がスペースシャトルで宇宙飛行
11月3日
ビル・クリントン、米大統領選挙に当選

昭和61年より改良工事を進め、このほど完成いたしました。地域住民の生活の安定を図り、地域経済の発展に寄与するものと思われます。

【温泉が出た】ついに舟形町にも待望の温泉が出来ました。8月10日、紫山地区で温泉の揚湯式が行われました。舟形町にふさわしい温泉の名称の募集をし、10月19日の選考委員会で海藤光雄さん（沖の原）の「舟形若あゆ温泉」に決定されました。

【縄文ビーナス発掘】県埋蔵文化財緊急調査団が6月8日から調査していた、西の前地区的発掘が10月6日に作業終了しました。この遺跡は作業が進むうちに縄文時代中期のものとみられる大規模な遺跡とわかり、高さ45cmの日本一大きい土偶（縄文八頭身美人）や多数の縦穴式住居跡が発見されるなど、全国的にも貴重な発見となりました。

【鈴木勝治氏初当選】任期満了に伴う舟形町長選挙が、2月9日に開票されました。投票率は94.60%、開票結果は小差の接戦の末、鈴木勝治氏が初当選され、第11代町長に就任することとなりました（鈴木勝治 2,712票、沼澤長吉 2,707票）。

【舟形児童館完成】3月19日「舟形児童館」が完成しました。総工費2,750万円をかけた児童館は、舟形保育所の東側に建てられ、赤い屋根の時計台がひと際目につきます。

【堀内バイパス完成】7月4日、堀内地内において、県道大石田・堀線改良工事完成に伴う祝賀会が行われました。現県道は、大石田から新庄を結ぶ最短ルートとして、著しく交通量が増加している中、幅員が狭く、大型車のすれ違いに困難をきたし、歩道もないため、通学の児童生徒は常に危険な状態にありました。これらを改善するため、

1993

(平成 5 年)

3月25日 舟保前の歩道に桜の記念植樹
4月1日 農業委員会委員改選
4月1日 観光物産センター・医療サービスセンターオープン
4月1日 町営バス福寿野地区へ乗り入れ
7月8日 富田地区バイパス完成
7月18日 衆議院議員選挙
8月2日 低温と日照不足が続いたため、異常気象対策本部設置
8月9日 当町出身、伊藤茂氏運輸大臣就任
8月12日 舟形若あゆ温泉オープン
10月20日 チャイルドランド完成
9月 第1回スポーツフェスティバル



舟中でコンピューター授業開始



0円。

【伊藤茂さんが運輸大臣】当町出身、伊藤茂さんが細川内閣の運輸大臣に就任されました。伊藤さんは舟形第二の出身で、新庄中学校（現新庄北高）、旧制山形高等学校、東京大学を卒業後日本社会党中央本部に勤務されました。昭和51年に衆議院議員に初当選し、以来6期連続当選しています。9月10日には里帰りし、中央公民館において大臣就任を祝う会が開催されました。

【舟形町観光物産センターと医療サービスセンターがオープン】観光物産センターには、町内企業の製品や長沢和紙、土偶の冷酒も展示されています。また、医療サービスセンターには、舟形診療所が開院し、町民の医療不安を解消し、健康増進に寄与するものと期待されます。

【若あゆ温泉完成】町民待望の若あゆ温泉が完成し、8月12日にオープンしました。温泉は地下1,224mから湧出し、成分はナトリウム塩化物強塩温泉で、温度48°のお湯が毎分100L得られます。神経痛や疲労回復など幅広い効き目がありますが、皮膚病にもよく、「美肌の湯」として評判を得ています。入浴料は大人300円、小人15

世界と日本

1月15日 北海道釧路沖地震
3月12日 北朝鮮、核不拡散条約（NPT）脱退を表明
3月27日 江沢民中国共産党総書記、国家主席に就任
6月9日 皇太子、小和田雅子さんと結婚
8月9日 細川護熙連立政権が発足、55年体制の崩壊
12月16日 田中角栄元首相死去



チャイルドランド完成

1994

(平成 6 年)

4月1日 特別養護老人ホーム「えんじゅ荘」オープン
5月 曽根田日出雄氏、小國弥三郎氏、共に勲六等瑞宝章受章
6月1日 若あゆ温泉路線バス運行開始
6月2日 橋和雄知事とのふれあいトーク舟形町で開催
8月 記録的な猛暑が続き、干害対策本部を設置
8月31日 高規格道路舟形トンネル貫通
10月17日 舟形郵便局新装オープン
10月29日 第1回菊花まつり開催
11月1日 町制施行40周年記念式典
12月23日 「福祉のまち」宣言



50床入所可能な「えんじゅ荘」オープン



菊愛好会が約300鉢の菊花を展示



町制施行40周年

世界と日本

2月12日 リレハンメルオリンピック開幕
4月25日 新生党、公明党、社会党など連立与党、羽田孜を首班指名
6月27日 オウム真理教によって松本サリン事件発生
6月29日 自民党、社会党、新党さきがけが村山富市社会党委員長を首相指名
6月30日 村山内閣発足
9月4日 関西国際空港開港

また、自然の恵みを大切に、健康で心豊かな生涯を送るよう励まし合い努力することも必要であります。このため、舟形町民一人ひとりが心身の健康管理に关心をもち、家族の絆を大切にし、地域福祉の向上とボランティアの育成につとめると共に、ゆとりと生きがいのある町を創造していくなくてはなりません。

舟形町は、このような自覚と認識にたち、町民のしあわせを願い、ここにすべての町民の決意として「福祉のまち」を宣言いたします。

福祉のまち宣言

（平成6年12月23日制定）

人生80年の長寿社会をむかえ、町民一人ひとりが、福祉について理解と思いやりの心を培つて行動していくことが望れます。

00名が出席する中、特別記念功労者表彰が行われました。合併当時は国内有数の亜炭の产地として栄えましたが、昭和30年代以降、石油やガスへの燃料革命が進んだことや、都会への人口流出で過疎化が進みました。その後町は、稲作を中心とした農業を基盤として発展し、現在にいたっています。

2月 1 日 住民票と印鑑証明書の発行 事務が電算化に
4月 1 日 金山町を除く最上 7 市町村 の森林組合が合併
4月 1 日 生涯学習センターオープン
4月 若あゆ温泉周辺にコテージ やテニスコートなどが完成
4月 9 日 県議会議員選挙
4月 23 日 町議会議員選挙、町制施行 後、初の無投票当選
5月 2 日 福寿野地区に防災ダム完成 (4 億 5,500 万円)
7月 6 日 体験実習館の雪冷房システ ム初稼働
7月 23 日 参議院議員選挙 新進党躍進
7月 24 日 チャイルドランドに「あゆ っこふれあい橋」完成
8月 2 日 戦後 50 年、戦没者追悼式開催
8月 11 日 佐藤充夫氏(舟形 3)が若 あゆ温泉に鮎モニュメント を寄贈
9月 6 日 長沢地区に射撃センター完 成 (6,000 万円)
10月 国勢調査で人口 7,546 人に



【あゆっこ村】若あゆ温泉周辺を中心に、「コテージ村」「キャンプサ イト」「テニスコート」「ウッディランド」「ゲートボール場」「多目的 グランド」などを整備しました。名称は 332 通の応募から選ばれ、「あゆっこ村」と決定。
【戦後 50 年】戦没者追悼式は、昭和 27 年に戦後初めて行政主催で 行われて以来、45 年間行われてきました。終戦後 50 年を経た現在 でも数多くの方々が戦争を引きずって暮らしています。戦没者のご冥 福を祈りつつ、戦争当時の出来事を振り返り、いつまでも語り継いで いく必要があるのではないかでしょうか。
【異常気象】6 月から 7 月にかけての日照不足や、8 月下旬から 9 月 上旬までの低温により、稲作をはじめ多くの農作物に被害が及びました。全国の作況指数「102」に対して県は「92」、最上地方にあ っては「88」と著しい不良となりました。町ではこれを重く受け止め、「異常気象対策本部」を設置して、対応にあたりました。

2月 2 日 豪雪対策本部設置
2月 26 日 第12代町長に鈴木勝治氏 就任
4月 1 日 農業委員会委員改選
4月 1 日 旧 A コープ建物を役場第二 庁舎としてスタート
4月 産廃処分場建設に揺れる
5月 1 日 上長沢地区農業集落排水処 理施設が完成
6月 町議会で舟中・長中統合に ついて可決
9月 町議会での中学校統合問題 不調に
10月 1 日 全町に防災行政無線が開局 (1 億 8,926 万円)
10月 15 日 若あゆ温泉利用者が 50 万人 を突破
10月 20 日 衆議院議員選挙
11月 27 日 新富長橋が完成 (11 億 9,600 万円)



【世界と日本】
1月 17 日 午前 5 時 46 分、阪神・淡路大 震災発生
3月 20 日 地下鉄サリン事件発生
4月 9 日 東京都知事に青島幸男氏
大阪府知事に横山ノック氏当選
5月 16 日 オウム真理教の教祖、麻原彰晃 こと松本智津夫逮捕
6月 2 日 ドジャースの野茂初勝利
6月 21 日 羽田～函館行きの全日空機がハ イジャック
1月 11 日 橋本内閣発足
2月 14 日 羽生善治が史上初、将棋タイトル 7 冠達成
7月 12 日 英国のチャールズ皇太子とダイ アナ妃が離婚合意
7月 20 日 アトランタオリンピック開催 (米国)
12月 17 日 ペリー日本大使館人質事件発生、 翌年 4 月 22 日解決

【豪雪】10 年ぶりの大雪にみまわれた町では、昭和 55 年以来の豪 雪対策本部を設置し、雪害に対する警戒態勢をとりました。
【防災行政無線】各家庭に個別受信機を設置することにより、災害時 の緊急連絡並びに農業情報を素早く知ることが出来るようになりました。

1997

(平成9年)

1月
入浴車による在宅入浴サービス始まる
1月26日
県知事選挙、橋和雄氏再選
2月
洲崎木工クラフト館完成
(2,970万円)
4月1日
あゆっこ村を(株)舟形町振興公社へ管理業務委託
4月20日
ロッテルダムマラソンで伊藤真貴子選手が、日本歴代2位(当時)の2時間26分3秒で3位
7月1日
町のホームページをインターネット上に開設
7月29日
消防団長に加藤憲彦氏
11月30日
伊藤真貴子選手が東京国際女子マラソンで初優勝(タイム:2時間27分45秒)
12月17日
伊藤真貴子選手へ町初の市民栄誉賞贈呈、山新3P賞も受賞
12月
森他人男氏、勲五等雙光旭日章受章



在宅でも入浴サービスを受けられるよう



舟形町を全世界に発信

世界と日本

1月2日
島根県沿岸でナホトカ号重油流出事故
3月22日
秋田新幹線、盛岡駅~秋田駅間が開業
4月1日
消費税増税実施(3% 5%)
7月1日
香港返還
8月31日
ダイアナ元英皇太子妃、パリで交通事故死
10月16日
臓器移植法施行
12月1日
地球温暖化防止京都会議で京都議定書採択



東京国際女子マラソンで力走する伊藤真貴子選手

【舟形町振興公社とは】町が資本金の全額を出資して、町施設の管理や運営を目的として生まれた会社です。いわゆる、経営が「民営化」されたわけではなく、施設の管理運営を委託されているのです。したがって、料金等を公社自体で改定することは出来ず、議会の承認が必要となります。

【インターネット】以前は企業や大学など一部の専門分野だけの情報

通信手段でしたが、パソコンとモデムさえあれば、今や誰でもが利用できる情報発信・収集手段です。わが町の観光を中心に全世界に発信しました。

【自然の驚異】この年、台風8号が当町を襲い各所に爪跡を残しました。被害額は5,000万円を超えました。

1998

(平成10年)

1月8日
新舟形小学校完成開校式
3月10日
元町長澤内甚一郎氏逝去(享年83歳)
4月1日
三光堰、大堰、富田の三土地改良区が合併
4月1日
最上広域「リサイクルプラザもがみ」が完成し、ゴミの有料化と分別回収始まる
4月7日
新生舟形統合中学校で第1回入学式(全校生徒315名)
5月24日
松橋観光わらび園初オープン
6月30日
縄文ヴィーナスが国重要文化財に指定
7月12日
参議院議員選挙
7月28日
広域農道「一ノ関大橋」完成
9月1日
生涯学習センターで証明書発行窓口開設
10月10日
県民ゴルフ場オープン
10月18日
長沢中学校閉校式
10月22日
『市民憩いの親水空間』アユパーク整備が完了



鉄筋コンクリート3階建ての新校舎に子供たちも大喜び



一ノ関大橋開通。
この道路は将来、亀割バイパスまで開通します



18ホール、パー72の本格コースが低料金で。

世界と日本

2月2日
郵便番号7桁化
2月7日
冬季長野オリンピック開幕
3月10日
自民党、10兆円規模の追加景気対策表明
5月11日
インドで核実験
7月25日
和歌山毒物カレー事件発生
7月30日
小渕内閣発足
8月31日
北朝鮮がテボトン発射し、三陸沖に着弾
12月16日
国連の大量破壊兵器査察を拒否したイラクを米英軍が空爆



松橋わらび園オープン

【教育】舟中・長中統合は29年来的懸案事項であり、政治的に町を大きく二分する事業でありました。平成8年には裁判を起こすまでに発展しましたが、長年の課題がやっと解決しました。

【松橋わらび園】3年前から整備を進めてきた松橋わらび園が5月24日にオープン。花火を合図におよそ100名が一斉に山に入り、思い思いの場所でわらび採りを楽しみました。町内はもとより遠くは千葉県から来たグループもあって人気は上々でした。

【縄文のヴィーナス国重文指定】国の文化財保護審議会は西の前遺跡

から出土し「縄文のヴィーナス」と話題を呼んだ立体土偶と、頭部や胸部などの破片計48点を、重要文化財として指定することを文化庁長官に答申しました。町では初、県内では86件目になります。

【ゴルフ場】10月10日、県企業局が平成8年から工事を進めてきた、山形県県民ゴルフ場がオープンしました。あゆっこ村に隣接し、コース全長は6,336ヤード、18ホールのパー72、低料金が売りとなっています。

1999

(平成11年)

2月19日 鮎中間育成施設完成
4月1日 農業委員会委員改選
4月1日 県内初の交通安全条例制定
4月11日 県議会議員選挙、地元伊藤重成氏が初当選
4月25日 町議会議員選挙（投票率93.80%）
5月1日 下長沢地区農業集落排水処理施設が完成
5月16日 第50回県植樹祭があゆっこ村で開催、こぶし並木も完成
5月28日 長沢にディサービスセンター「遊学館」オープン
9月20日 あゆっこ村コテージ4棟増設完成
10月1日 情報公開制度スタート
11月27日 自動車専用道路の尾花沢新庄道路開通
12月10日 女性消防団員が組織化され結団式



若鮎の里に鮎中間育成施設完成



県議選初出馬でトップ当選した伊藤重成氏（野）



幅広い分野での活動が期待される女性消防団



沖の原インターチェンジ



高橋県知事が若あゆ温泉で記念植樹

世界と日本

1月19日 富本錢が発掘される（日本最古の通貨の可能性）
4月11日 東京都知事に石原慎太郎氏当選
8月9日 国旗国歌法成立
8月30日 東ティモール住民投票実施、インドネシアより独立支持78.5%
12月4日 山形新幹線新庄へ延伸

【鮎中間育成施設完成】環境適応能力の低下や冷水病の問題に対応するため、昨年から建設を進めてきた鮎中間育成施設が完成しました。初年度の今年は、小国川に28万匹、鮎川に12万匹がそれぞれ放流されました。
【山形県議会議員選挙】任期満了に伴う山形県議会議員選挙が4月11日行われ、地元から出馬した伊藤重成氏（野）がトップで初当選しました。同選挙区からは松澤洋一氏、小屋豊孝氏をあわせた3人が当選となりました。
【山形県植樹祭】「育もう 森をあいする やさしい心」をテーマに、

2000

(平成12年)

2月7日 若あゆ温泉利用者100万人達成
2月21日 相馬門策氏、勲六等単光旭日章受章
2月26日 第13代町長に鈴木勝治氏が就任
4月1日 第5次舟形町基本構想制定役場組織機構を大幅見直し
6月25日 衆議院議員選挙
6月29日 光生園開設25周年記念式典
7月 第3回全国雪サミット2000開催
10月1日 国勢調査で人口7,000人割る（6,996人）
12月10日 エコ産業プロジェクト研究会が環境省大臣表彰受賞



若あゆ温泉100万人突破



介護も保険給付の時代へ



無投票で三選を果たした鈴木勝治氏



広報ふながた500号を迎える

世界と日本

1月28日 新潟少女監禁事件。9年2ヶ月にわたる少女の監禁が発覚
4月1日 地方分権一括法施行
介護保険制度施行
4月5日 小渕首相の死去により、森内閣発足
5月7日 プーチンがロシア大統領に就任
7月19日 新紙幣2,000円札発行
7月25日 パリ郊外のホテルにコンコルド墜落。114人死亡
8月14日 大分で15歳の少年が一家6人を殺傷
11月28日 少年法改正案が成立



利雪に取り組む我が町で、全国雪サミット開催

【若あゆ温泉】平成5年8月の開業以来、若あゆ温泉の入浴利用者が2月7日で100万人を突破しました。100万人目の利用者となった鈴木ひささん（沖の原）には花束と記念品が贈られました。
【介護保険】4月1日から介護保険制度が施行され、それに伴い町内のサービス提供事業所となる舟和会でこの日事業所開きを行いました。今回開設した事業所では、通所や訪問介護の支援、ディサービスセンター利用など、ケアプランに沿った各種サービスが提供されます。
【雪サミット】7月6日から8日にかけて、第3回全国明るい雪自治

体会議（雪サミット2000）が開催されました。中央公民館において、「明るい雪自治体連絡協議会」加盟市町村によるサミットが行われ、長沢小学校を主会場に「環境と農業」「環境とエネルギー」というそれぞれのテーマで分科会が行われたほか、山大教授の原田憲一氏による記念講演が行われました。
【人口】5年に一度行われる国勢調査で我が町の人口は、ついに7,000人を割り、6,996人でした。

2001

(平成13年)

1月14日 新相撲で長沼円可さん全国優勝
 1月28日 県知事選挙
 2月13日 20年ぶりの豪雪で人身事故、園芸ハウス被害が多発
 (堀内小積雪264cm)
 7月29日 参議院議員選挙
 8月1日 清流荘前に調剤薬局オープン
 9月 第21回若鮎まつり、大泉逸郎ショーに2万4千人の入客で過去最高
 10月25日 農産物直売所まんさくオープン
 11月 星川亨先生、勲五等双光旭日章受章
 11月 叶内兵八氏、勲六等瑞宝章受章
 11月11日 11時11分11秒に舟形町第3町内会「多目的広場」「町道寺下線」完成祝賀会
 12月 紫山民間宅地造成「パープルエコタウン」分譲開始



20年ぶりの大雪にみまわれた町内



若あゆまつり、演歌「孫」で大ヒットした大泉逸郎ショウに大歓喜



農産物直売所まんさくオープン



分譲されるパープルエコタウン

【新相撲で長沼円可さん全国優勝】大阪市中央体育館で1月14日に行われた「全日本新相撲選手権大会小学生大会」5年生の部で、県代表で出場した富長小の長沼円可さんが見事全国優勝という偉業を果たしました。新相撲は1996年に始まった女性だけの相撲競技です。
 【雪害】20年ぶりの記録的大雪に見まわれた当町。堀内小学校では264cmの積雪を記録しました。
 【秋の収穫】星川亨先生は舟形で診療所を開設してから58年間にわたり、地域医療に貢献されました。叶内兵八氏は町議会議員として3期12年間にわたり、また、町監査委員や長沢児童館長として町の発展に尽力されました。
 【大泉逸郎歌謡ショー】第21回ふながた若鮎まつりが9月8日・9日に行われ、過去最高となる2日間で2万4千人の人出で賑わいました。お目当ての大泉逸郎歌謡ショーが行われた2日目には1万8千人の入場者があり、ヒット曲「孫」などで大いに盛り上りました。
 【産直まんさく】最上地方初の常設直売所となる「若あゆの里産直まんさく」が10月25日にオープンしました。売り場には生産者の名札を付けた野菜やコンテナがいっぱいに並べられ、大勢の客で賑わいました。

2002

(平成14年)

3月1日 県内初の地域安全条例制定
 3月29日 えんじゅ荘30床増床
 「ゆいの家」完成
 4月1日 農業委員会委員改選
 5月1日 佐藤充夫氏に第8号、伊藤茂氏に第9号名誉町民贈る
 8月5日 住民基本台帳ネットワークシステム稼働開始
 12月1日 ゴミの分別方法が変わり、プラスチック類も可燃ゴミへ
 12月10日 民間介護老人保健施設「徳洲苑」開所



高齢者生活福祉センター「ゆいの家」が完成



学校完全週5日制スタート



住基ネットの運用が始まり行政手続きが便利に



富田地内に完成した「徳洲苑」。一般棟50名、痴呆棟50名の定員。



全国都市緑化フェア開催

【市町村合併】平成の大合併が話題となる中、町民2,000人を対象とした「新庄・最上地域市町村合併アンケート」を実施しました。合併肯定は45%でした。

【少子化】この年、平成5年から実施されてきた「ハビネス養育金」(第3子以降30万円)の支給制度が見直され、翌年度から「こども養育支援金」(第1子から出生時5万円)の支給が始まりました。

【IT化】8月5日より町民一人ひとりに住民票コードが付けられ、全国どこの市町村でも住民票の交付が受けられるようになりました。

【徳洲苑】介護認定を受けた高齢者を対象に、入所、通所等によるリハビリなどの介護サービスを行う介護老人保健施設「舟形徳洲苑」が完成し、12月10日に内覧会と祝賀会が開かれました。定員は一般棟50人、痴呆専門棟50人の計100人。

2003

(平成15年)

2月19日 県道舟形大蔵線「西の前アンダー」開通
 2月21日 最上8市町村による市町村合併任意協議会発足
 4月 町立学校で二学期制を導入
 4月13日 県議会議員選挙
 4月27日 町議会議員選挙（投票率92.51%）
 5月20日 舟形地区公共下水道一部供用開始
 5月28日 5月28日
 舟形町チャレンジデー
 2003開催（舟形町VS島根県三刀屋町）
 6月 大場啓二氏に第10号名誉町民贈る
 7月1日 若あゆ温泉来客者150万人達成
 8月11日 新庄市・舟形町、1市1町による法定合併協議会発足
 10月 「国民文化祭やまがた2003」町で「縄文フェスティバル」開催
 11月9日 参議院議員選挙
 12月 議会で「住民投票条例制定案」を全会一致で可決



新幹線新庄延伸に伴う立体交差ついに完成



平成5年の開業以来およそ10年間で150万人



1市1町による合併協議会発足



縄文の火祭りでの創作舞踊

【若あゆ温泉150万人突破】7月1日、若あゆ温泉の利用者が150万人を突破しました。一日の利用者数は平均約450人と郡内では最も多く、美肌の湯として人気を集めています。

【新庄市・舟形町合併協議会設立】8月8日、舟形町議会において、法定協議会の設置案件が議決（賛成9、反対6）されました。これを受けて、8月11日に1市1町の「新庄市・舟形町合併協議会」が発足しました。

【国文祭やまがた2003】県内44市町村で一斉に行われるこの催し物は、文化の国体とも呼ばれています。10月4日から10日間の開催期間には、延べ2,700人が「縄文フェスティバル」に訪れ、大変賑やかな祭りとなりました。

【県内無火災記録更新】舟形町では13年6月12日から15年11月までの約2年半、火災の発生がなく、無火災が900日を突破しました。昭和29年の合併以来の記録となり、県内でも第1位の記録となっています。

2004

(平成16年)

2月8日 第14代町長に伊藤和昭氏就任
 2月21日 第59回山形もがみ国体で当町出身の佐藤真選手、大場智也選手が大健闘
 3月31日 飯倉小学校（港区）が廃校となり、30年間続いた交流に終止符
 4月1日 町立学校敷地内、全面禁煙
 5月 町内18カ所で住民投票説明会
 6月6日 「新庄市との合併の賛否を問う住民投票」で合併反対が73.4%
 7月31日 新庄市・舟形町合併協議会廃止
 7月17日 7年ぶりの大水害に、「大雨災害対策本部」を設置
 9月4日 元町議会議長の伊藤允一氏死去
 10月22日 中央公民館改修工事完成
 11月1日 町制施行50周年記念式典



住民投票を前に住民説明会開催



法面が崩壊し、土砂が道路を越えて、水田まで達している（7.17水害）



町立3保育所保護者会主催の「はたらくるま」(コンクリートモービル車前)

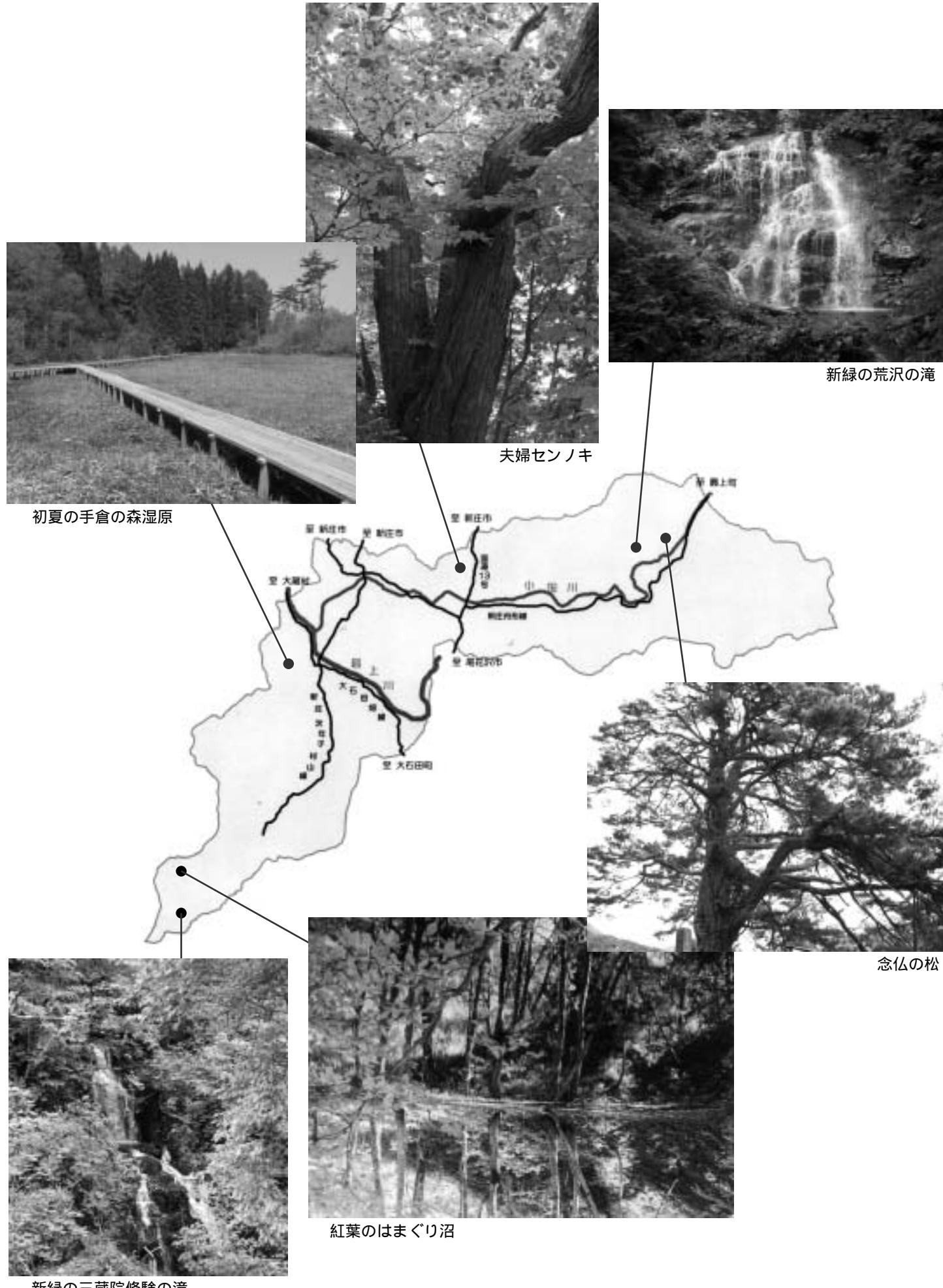
【YBCラジオ「なわとびに挑戦」で富長小優勝】YBCラジオ「なわとびに挑戦」コーナーへ富長小が挑戦しました。2月13日、霞城セントラルで行われたチャンピオンシップ大会に出場し、当大会の記録599回を大きく上回る、1,113回を跳び新記録を樹立し優勝しました。

【住民投票】平成の大合併が全国で進み、問いただされる中、県内で初となる「合併の賛否を問う住民投票」が実施されました。投票率85.77%という関心の高さでした。

【夫婦センノキ】去る5月、最上山岳会が紫山の山神神社西側のセンノキを計測したところ、幹回り7m、高さ25m、樹齢は600年を超す巨木であることが確認され、東京都の「巨樹・巨木センター」によるとセンノキとしては、全国第3位の巨木であることが判明しました。

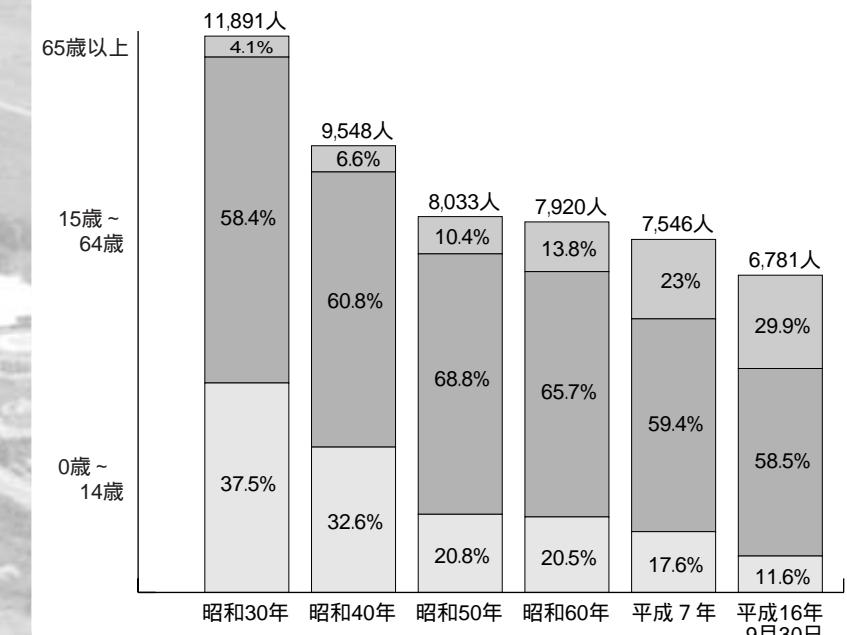
また、この神社の南側にも幹回り5.2mのセンノキがあり、地元では「夫婦センノキ」と親しみを込めて呼んでいます。

50年後も残したい自然



昔と今.....

人口比率

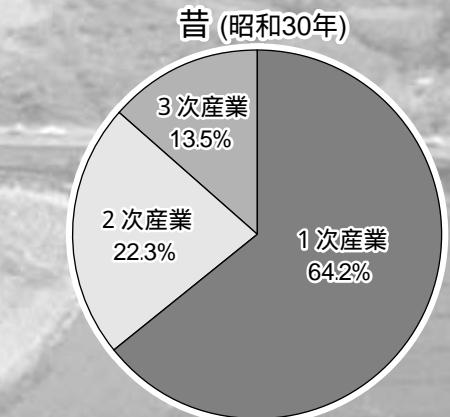


物価

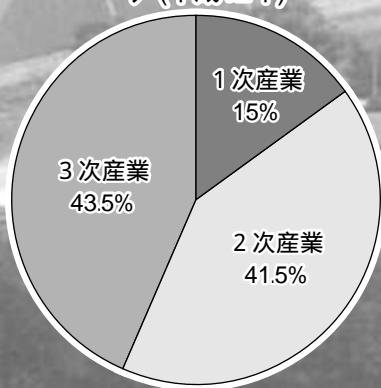
(金額は市場調査での概ねの数字です)

	昔 (昭和29年)	今 (平成16年)
白米 (10kg)	680円	4,200円
ざるそば	30円	500円
タバコ (ピース)	45円	220円
牛肉 1kg	181円	3,030円
豚肉 1kg	278円	1,420円
ビール	107円	500円
入浴料	15円	350円
映画館入場料	100円	1,700円
放送受信料 (TV)	300円	2,340円
銀行初任給大卒	5,600円	180,000円

就業人口比率

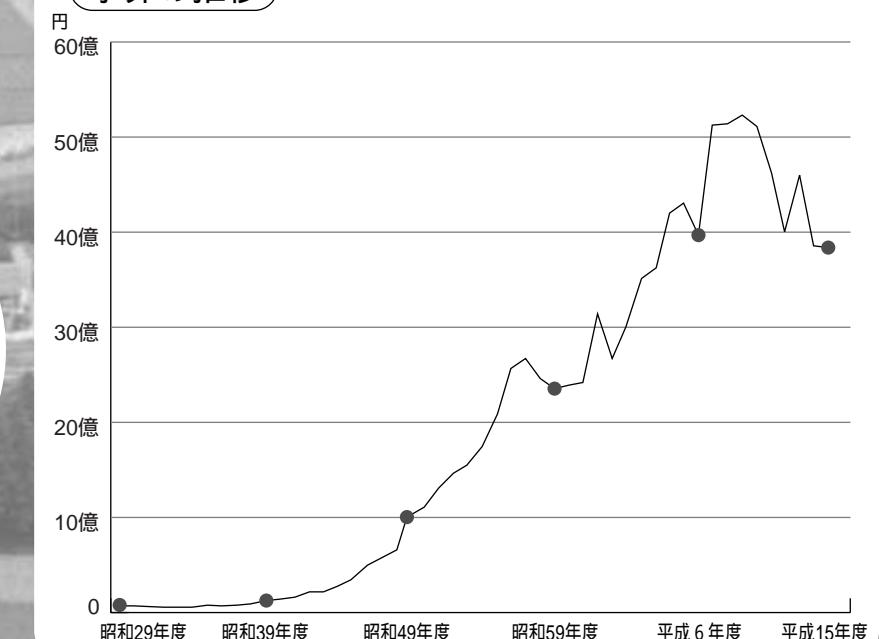


昔 (昭和30年)



今 (平成12年)

予算の推移



舟形町町民憲章

昭和五十九年十月一日

わたくしたちは由緒ある猿羽根山、清流小国川、悠久たる最上川のほとりに住まいする舟形の町民です。

豊かな自然に恵まれたわたくしたちは、健康で心豊かな伸びゆく町をめざしてこの憲章を定めます。

一、ふるさとを大切にし

水と緑の美しい町をつくります

二、心と体を鍛え

健康で明るい町をつくります

三、仕事にはげみ

活気ある豊かな町をつくります

四、教養を高め

文化の香り高い町をつくります

五、きまりを守り

心のふれあつ町をつくります



ふながた
若鮎物語 ~半世紀の軌跡~

町制施行五十周年記念誌

発行日 平成16年11月1日

発行・編集 舟形町

山形県最上郡舟形町舟形263

電話 0233(32)2111

印 刷 株式会社新庄印刷

山形県新庄市大字松本114

電話 0233(22)7011